10/22 日 13:30~15:15

第2回カルチャー講座

写真で巡る懐かしの伊勢

昔を知れば、未来が見える！
ディープな伊勢の魅力を学ぼう！

毎月開催される伊勢の人気カルチャー講座全６回シリーズの第２回目！今回も伊勢の歴史を知り尽くした講師が、昔の写真を通して、隠れた伊勢の魅力を楽しく解説！

☎0596-22-1112
住 伊勢市一之木1-2-3
アズマビル2F（ギャラリ つきよみ）
※1F/Capriccio
営 10:00～16:00
休 土日祝
WEB Instagram ID「capriccio.ise」

写真で巡る懐かしの伊勢
～月夜見宮から筋向橋編～

定員30名

コーヒー・お菓子付
1人500円（資料代含む）

講師 伊勢郷土史家 秋田耕司
場所 ギャラリ つきよみ

080-1581-3985へ
ショートメールにて予約受付

予約時、①氏名 ②電話番号 ③参加人数
上記①～③をお送りください。

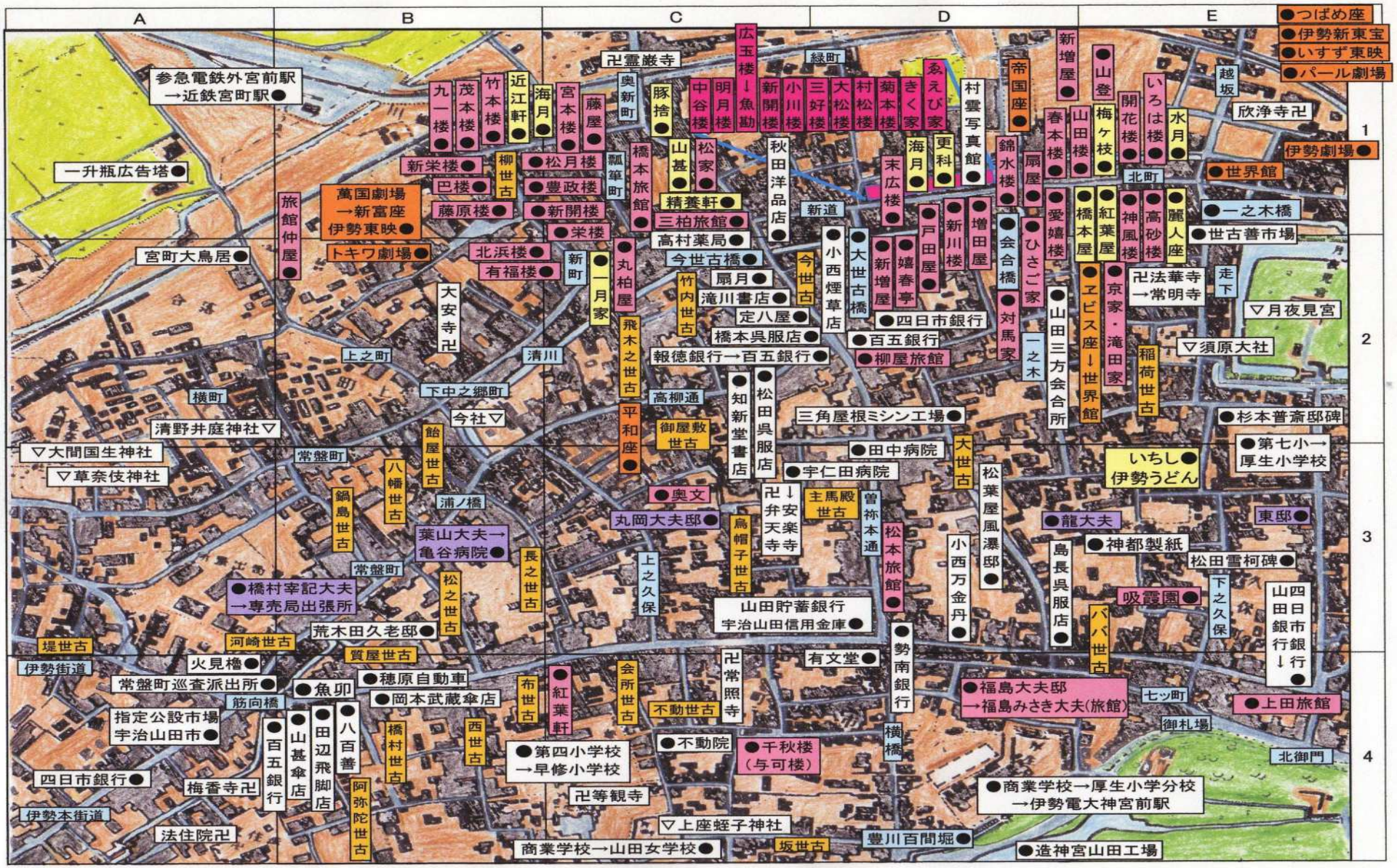
昔を知れば、未来が見える！

カルチャー講座

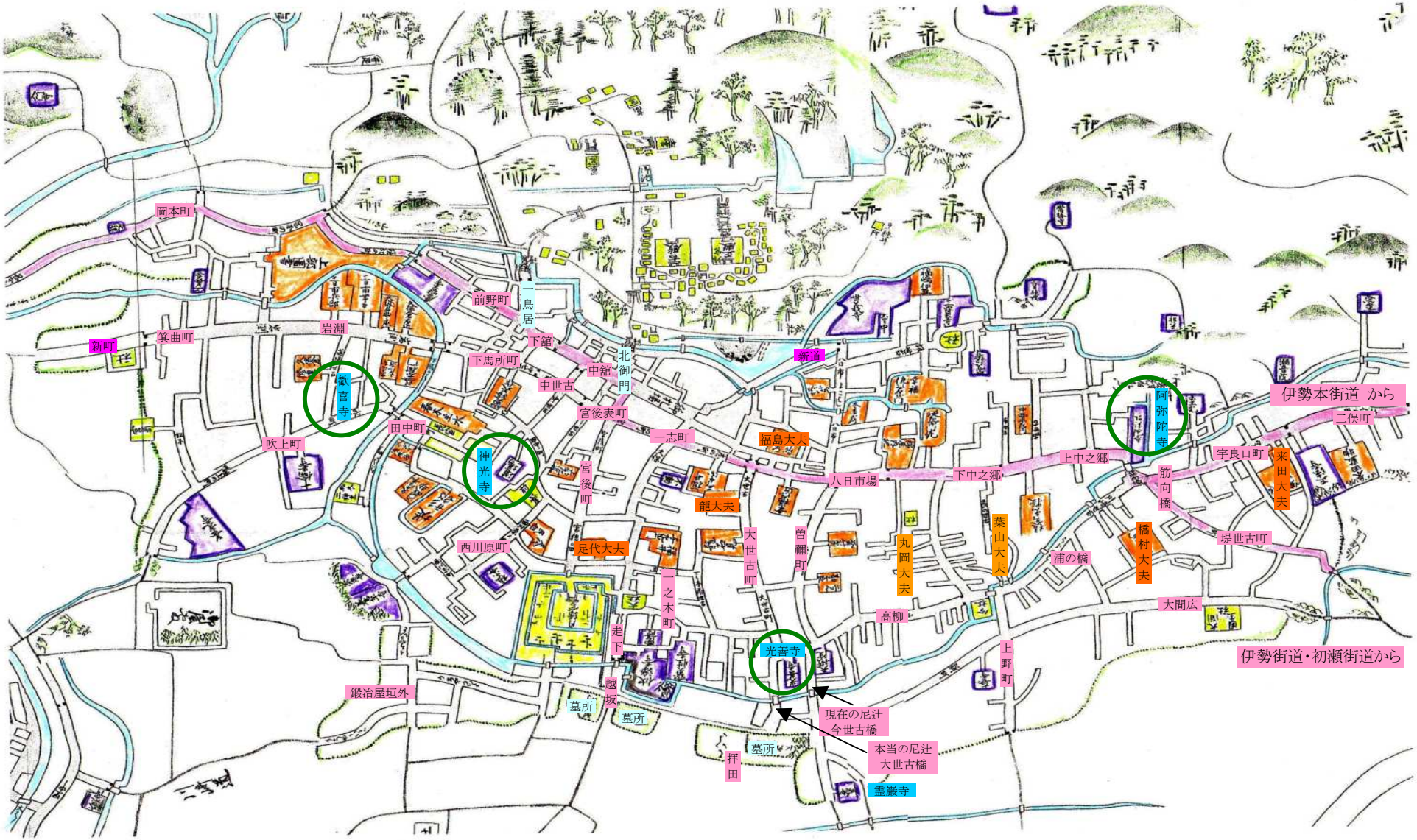
写真で巡る懐かしの伊勢

第1回 伊勢市駅周辺
第2回 月夜見宮から筋向橋
第3回 古市周辺
第4回 河崎周辺
第5回 筋向橋から西側
第6回 宇治周辺

月夜見宮から筋向橋


A
B
C
D
E
1
2
3
4
●つばめ座
●伊勢新東宝
●いすず東映
●パール劇場
参急電鉄外宮前駅
→近鉄宮町駅●
一升瓶広告塔●
宮町大鳥居●
萬国劇場
→新富座
伊勢東映●
トキワ劇場●
旅館仲屋●
大安寺卍
上之町
清川
横町
清野井庭神社▽
▽大間国生神社
▽草奈伎神社
常盤町
八幡世古
飴屋世古
鍋島世古
浦ノ橋
葉山大夫→
亀谷病院●
●橋村宰記大夫
→専売局出張所
長之世古
松之世古
荒木田久老邸●
堤世古
河崎世古
質屋世古
伊勢街道
火見櫓●
常盤町巡査派出所●
筋向橋
●魚卯
●穂原自動車
●岡本武蔵傘店
指定公設市場
宇治山田市●
●百五銀行
●山甚傘店
●田辺飛脚店
●八百善
橋村世古
西世古
四日市銀行●
梅香寺卍
阿弥陀世古
伊勢本街道
法住院卍
九一楼●
茂本楼
竹本楼●
近江軒●
海月●
宮本楼
藤屋●
新栄楼●
巴楼●
柳世古
●松月楼
●豊政楼
藤原楼●
●新開楼
●栄楼
北浜楼●
有福楼●
新町
●一月家
卍霊厳寺
奥新町
瓢箪町
橋本旅館●
●丸柏屋
飛木之世古
平和座●
高柳通
御屋敷世古
今社▽
清野井庭神社▽
●奥文
丸岡大夫邸●
上之久保
山田貯蓄銀行
宇治山田信用金庫●
会所世古
不動世古
●不動院
卍等観寺
▽上座蛭子神社
商業学校→山田女学校●
坂世古
●第四小学校
→早修小学校
布世古
●紅葉軒
卍常照寺
有文堂●
●千秋楼
（与可楼）
横橋
豊川百間堀●
●造神宮山田工場
●商業学校→厚生小学分校
→伊勢電大神宮前駅
豚捨●
中谷楼
明月楼
山甚●
松家●
精養軒●
三柏旅館●
高村薬局●
今世古橋●
扇月●
竹内世古
滝川書店●
定八屋●
橋本呉服店●
報徳銀行→百五銀行●
●知新堂書店
●松田呉服店
三角屋根ミシン工場●
●田中病院
●宇仁田病院
卍↓安楽寺
烏帽子世古
主馬殿世古
曽祢本通
松本旅館●
●勢南銀行
●福島大夫邸
→福島みさき大夫(旅館)
七ッ町
御札場
北御門
●上田旅館
広玉楼↓魚勘
緑町
秋田洋品店●
新道
今世古
●小西煙草店
●大世古橋
●四日市銀行
●百五銀行
●柳屋旅館
三角屋根ミシン工場●
大世古
小西万金丹●
島長呉服店●
ババ世古
新開楼
小川楼
三好楼
大松楼
村松楼
菊本楼
きく家
えび家
末広楼●
海月●
更科●
●戸田屋●
新川楼
●嬉春亭
●新増屋
●増田屋
村雲写真館●
錦水楼
●会合橋
●対馬家
帝国座●
扇屋
●ひさご家
一之木
新増屋●
春本楼
山田楼●
●愛嬉楼
●山田三方会合所
●山登
梅ケ枝●
●橋本屋
●エビス座→世界館
●紅葉屋
●京家・滝田家
開花楼●
神風楼
高砂楼
●麗人座
いろは楼●
水月●
越坂
欣浄寺卍
北町
●世界館
●一之木橋
●世古善市場
卍法華寺
→常明寺
走下
▽月夜見宮
▽須原大社
稲荷世古
●杉本普斎邸碑
●第七小→
厚生小学校
いちし●
伊勢うどん
松葉屋風瀑邸●
●龍大夫
●神都製紙
東邸●
松田雪柯碑●
吸霞園●
下之久保
山田貯蓄銀行↓
四日市銀行
伊勢劇場●

山田最古の寛永20年(1643)山田惣門図　この頃の山田の御師数は約400、うち34が記載



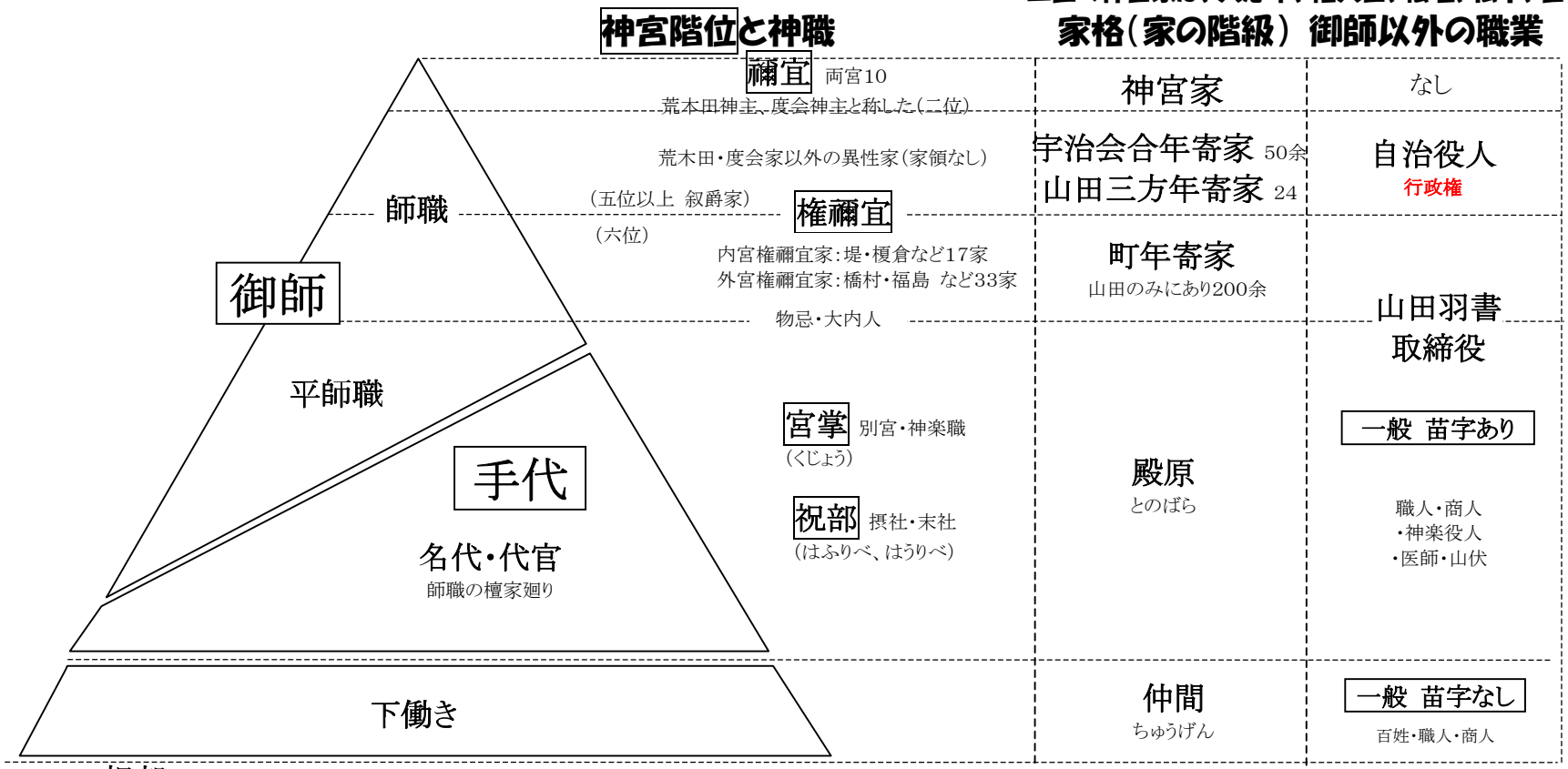
光善寺は大道場で『大世古』の名の由来、下の道場：歓喜寺（岩淵）　中の道場：神光寺（田中中世古）　上の道場：阿弥陀寺（現　梅光寺）・・・山田浄土宗の四大道場　寛文10年（1670）山田大火後、寺は移転「曽禰」は小木村曽禰から

御 師 と 家 格

伊勢神宮では天皇家以外の者の願い事を受付けないので、非公式にお祈りした（私幣私祈）したのが「御師」

御　師：私幣私祈する職業のこと、師　職：御師という職業に就いている者をいう

山田の神宮家は、久志本、佐久目、桧垣、松木、宮後、各家



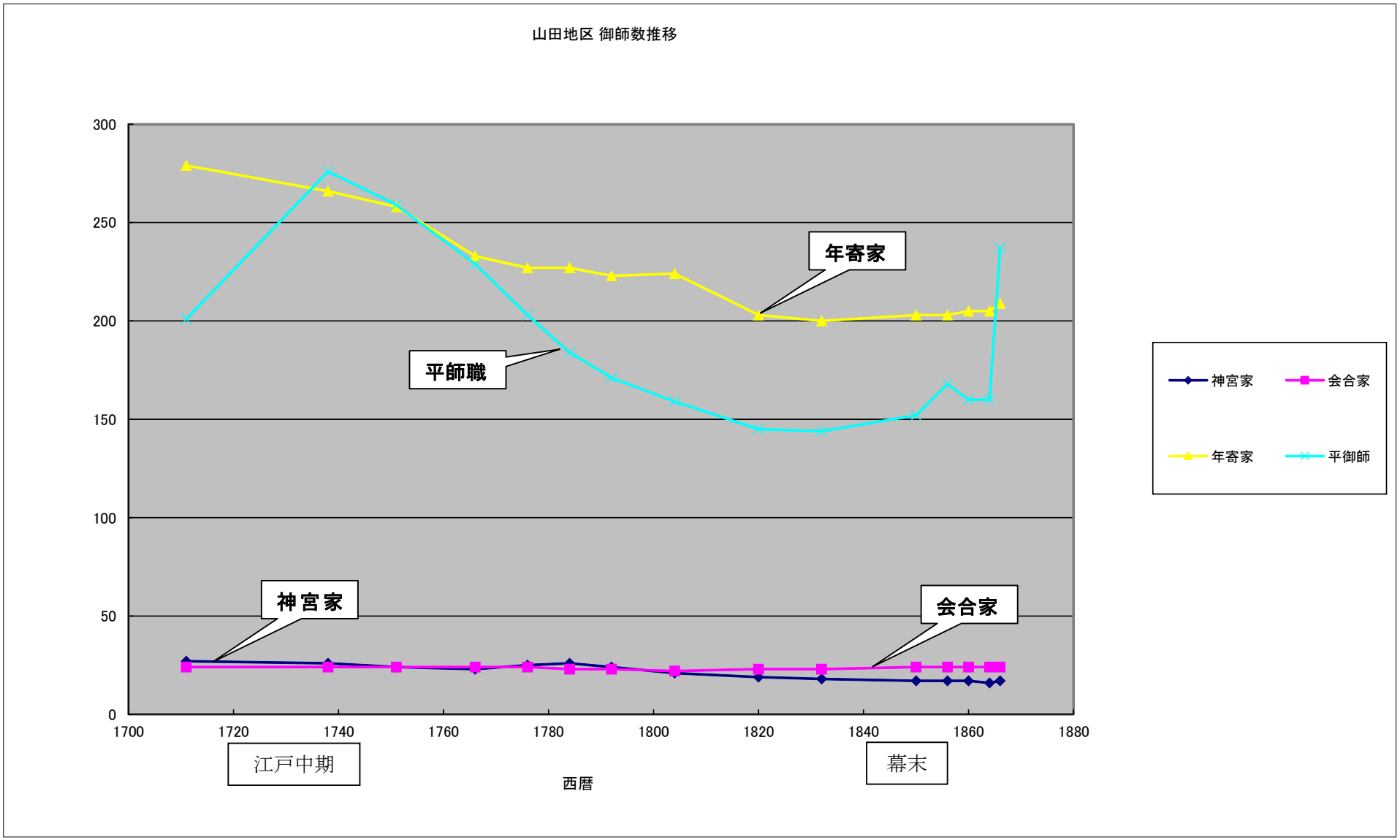
祝部　伊勢神宮の摂社・末社・所管社に置かれ、神社の守衛・掃除などを監督する役目で昔からいるが、1913大正2年に法令により設置された伊勢神宮の職員の一つ

御師　まめちしき

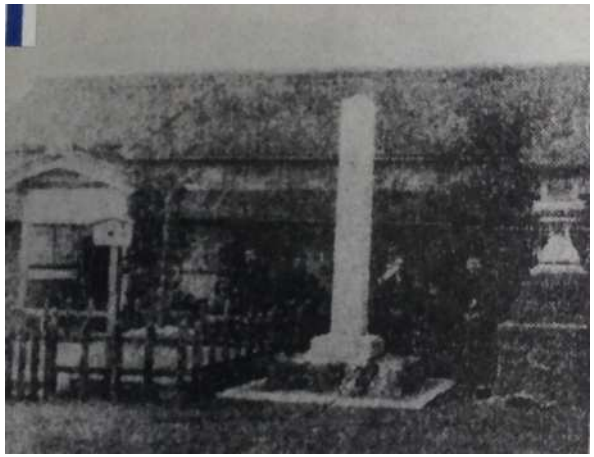
御師はなぜ『大夫』？・・・階位五位の人を『大夫』と呼んだ→権禰宜はだいたい『五位』に→（初期に）権禰宜が『御師』になった

大夫と太夫・・・どちらも OK！なぜ『花魁』は『太夫』？・・・御師（大夫）の多くが神楽職＝芸能に秀でている＝花魁も（推測）

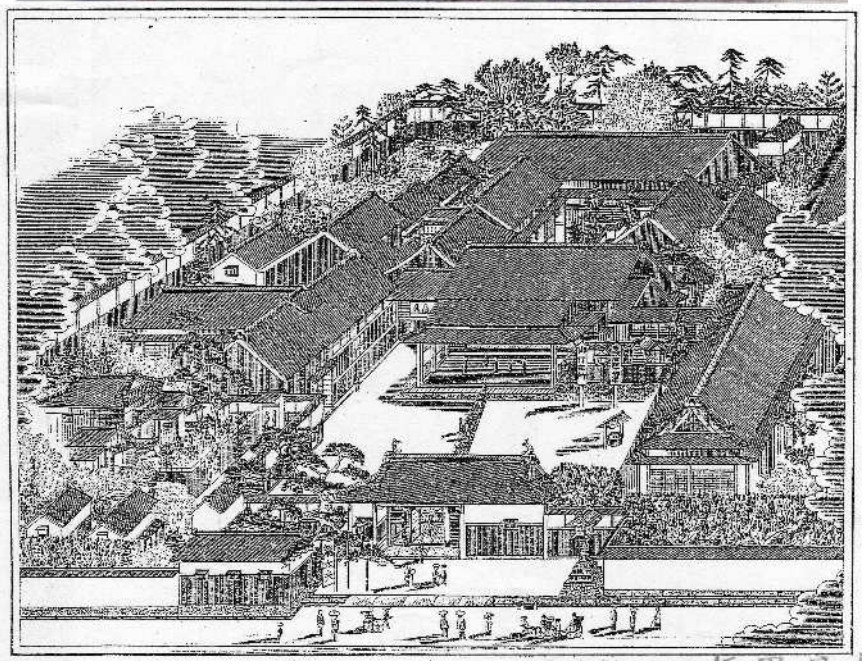
山田の御師数の推移 約650～400 宇治は200前後

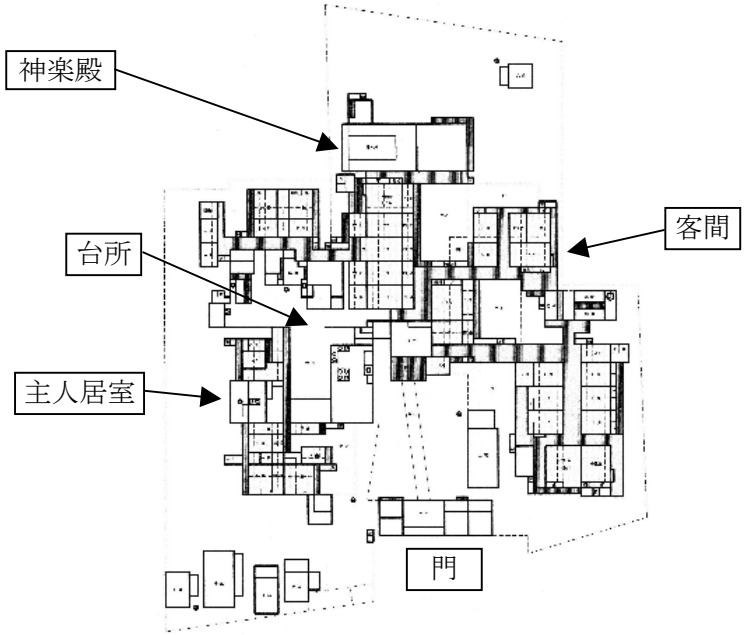


御 師 邸 ＜龍 大 夫＞ 大世古 明治33年神風館が買収、大正4年神都製紙（現 大豊和紙工業）買収



明治4年御師廃止後、伊勢を代表する大旅館となった
明治13年 明治天皇行在所 遺址





御 師 邸 ＜福島御塩焼大夫＞もと 宇仁田呉服店

御 師 邸 ＜葉山大夫＞

（旧 亀谷病院）明治41年

葉山大夫薬医門（旧 亀谷病院）昭和05年

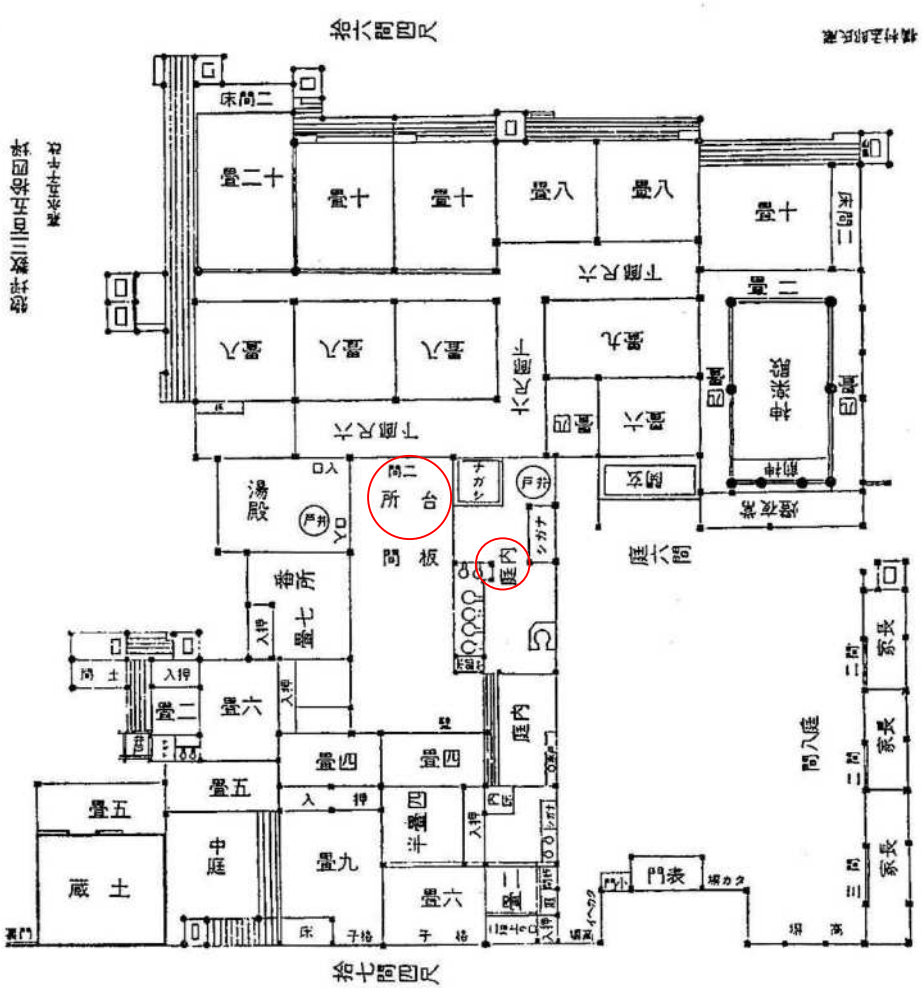
徴古館裏の薬医門(現在)

岩渕 亀谷内科三顧堂 明治15年

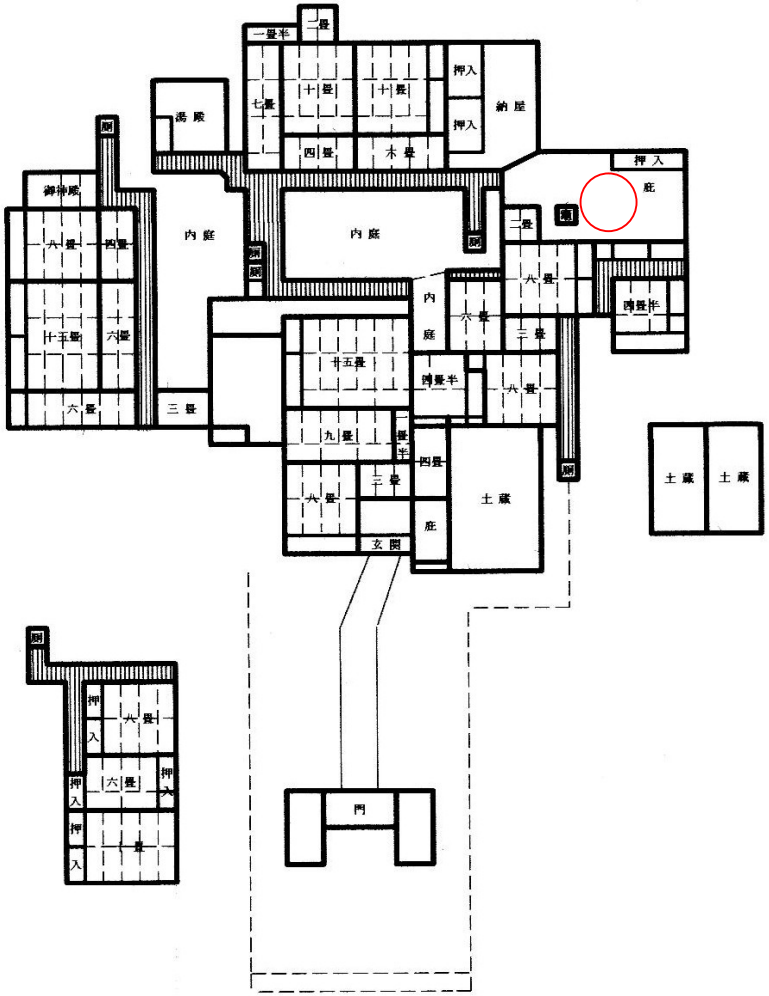
御 師 邸 ＜橋村宰記大夫＞筋向橋そば 旧専売公社 昭和3年神都図書館として宇治山田駅前に再建

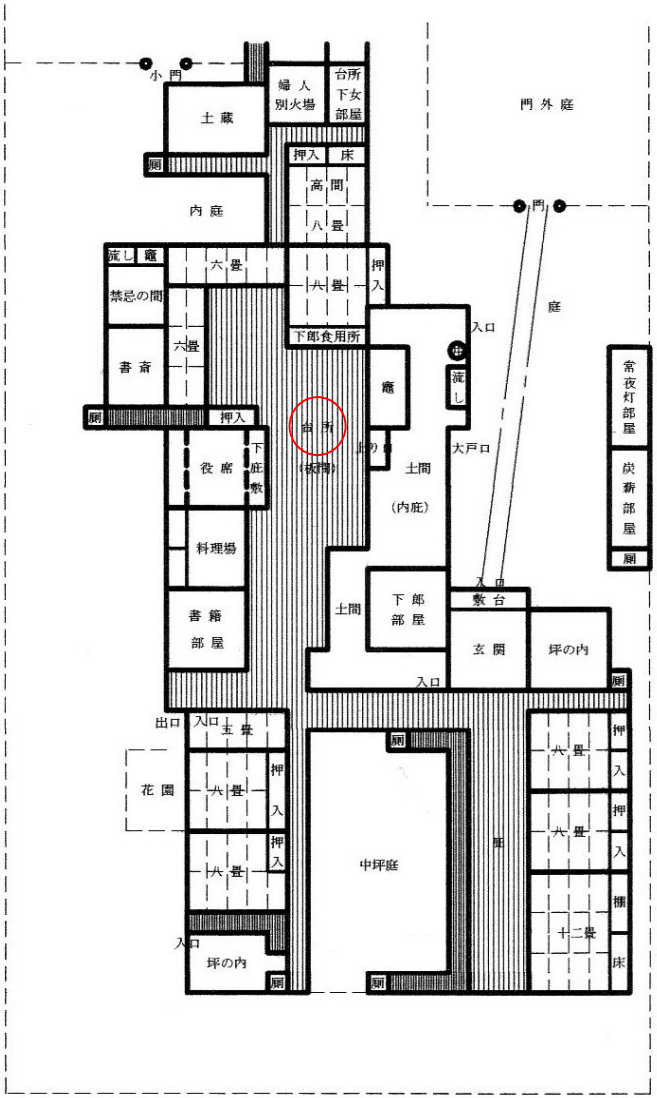
橋村宰記大夫邸 移築 一色 昌久寺 本堂
昭和20年焼失1059昭和34年再建

山門は橋村宰記大夫邸門ではない？
1839天保10年新設 昭和20年焼失


内宮参道
橋村宰記邸
伊勢市駅
内宮参道
表門
家来
家来
家来
間八庭
庭
庭内
板間
台所
二間
湯殿
井戸
神所
七畳
六畳
二畳
五畳
四畳
四畳
五畳
蔵
土
中庭
九畳
六畳
一畳
下廊下
下廊下
下廊下
八畳
八畳
十畳
十畳
十二畳
二間床
十畳
二畳
二間床
祭神
祭神
祭神

御 師 邸 ＜来田大夫＞ 現 浦口町 鈴木塾あたり ＜網代権大夫＞厚生小あたり

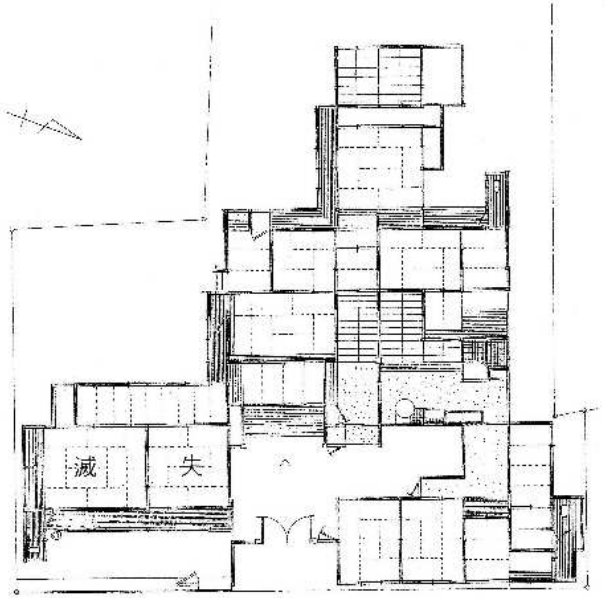




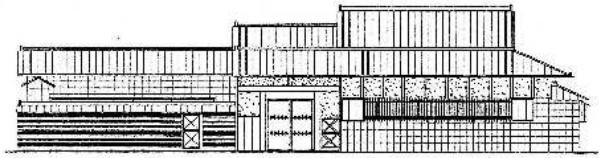
＜網代権大夫＞

台所によって、住居と宿泊部屋が区分されている

御 師 邸＜丸岡大夫＞ 烏帽子世古 現在



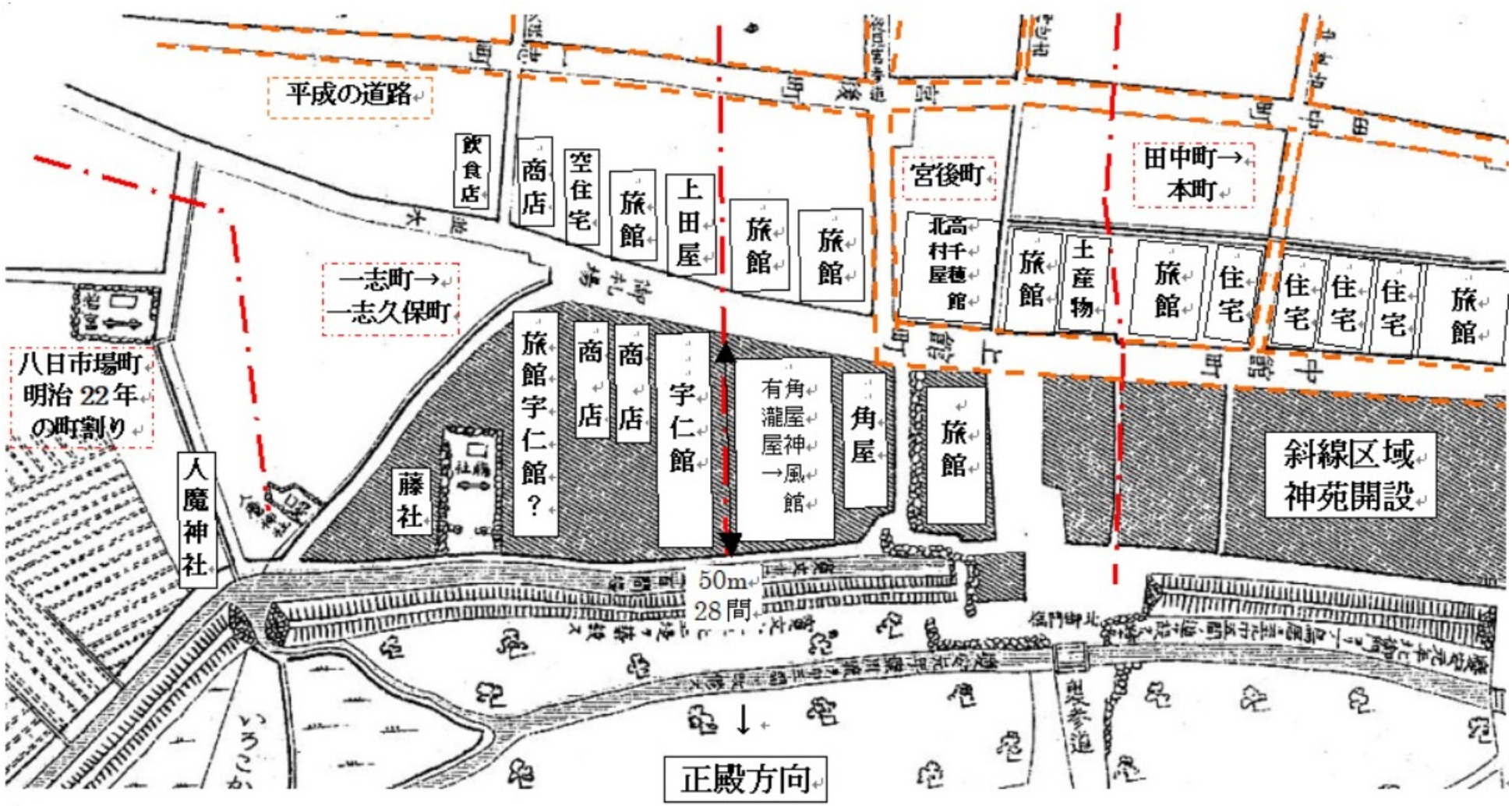
平面図（1：200）



正面(東側)立面図（1：200）

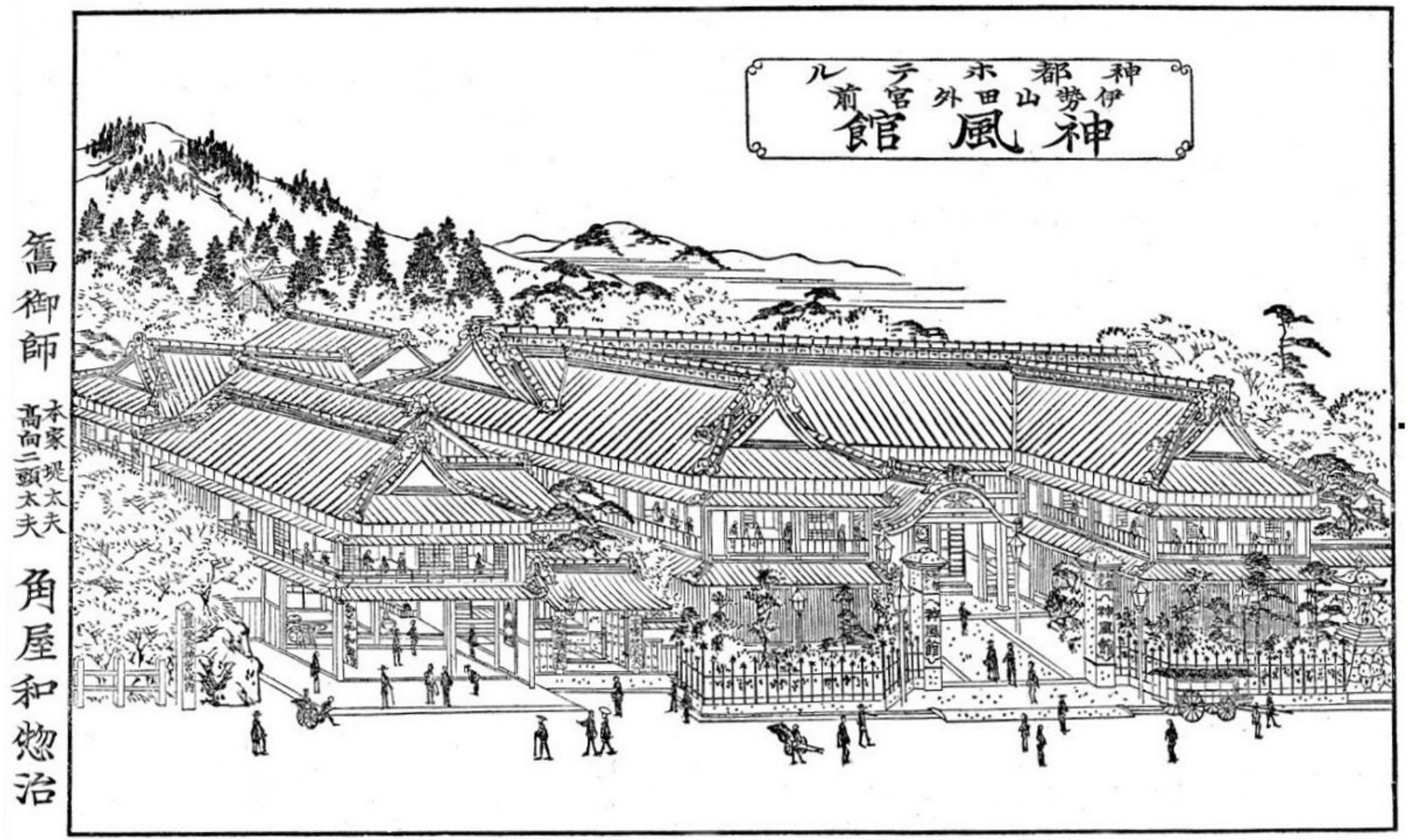
南側立面図（1：200）

北御門前の旅館　明治20年頃（検討中）御師廃止令により、町宿系旅館が台頭



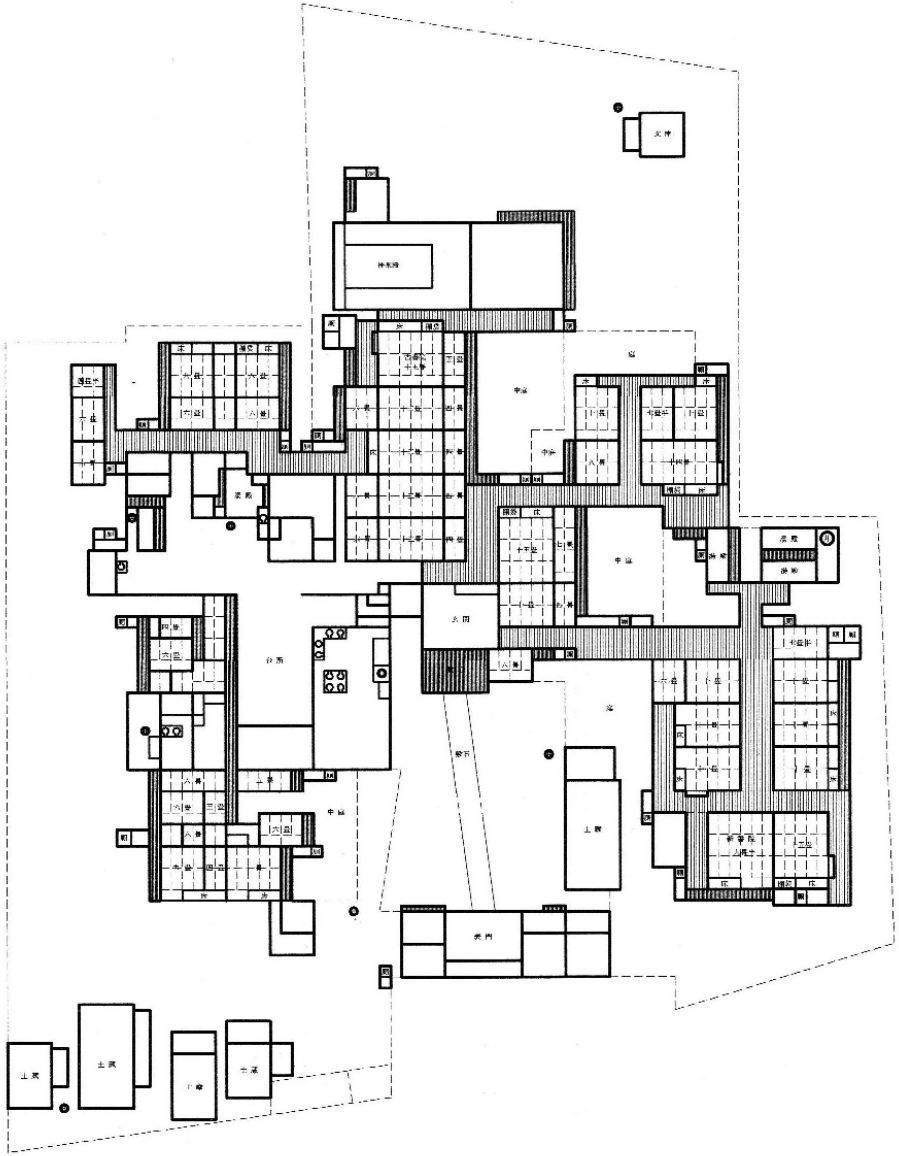
神苑会･･･明治22年外宮神苑開設発議、 明治36年頃神苑開設工事完了

旅 館　＜角屋 のち 神風館＞



明治22年以後より開始された外宮北御門前の神苑整備のために、明治33年までに『龍大夫』邸に移転

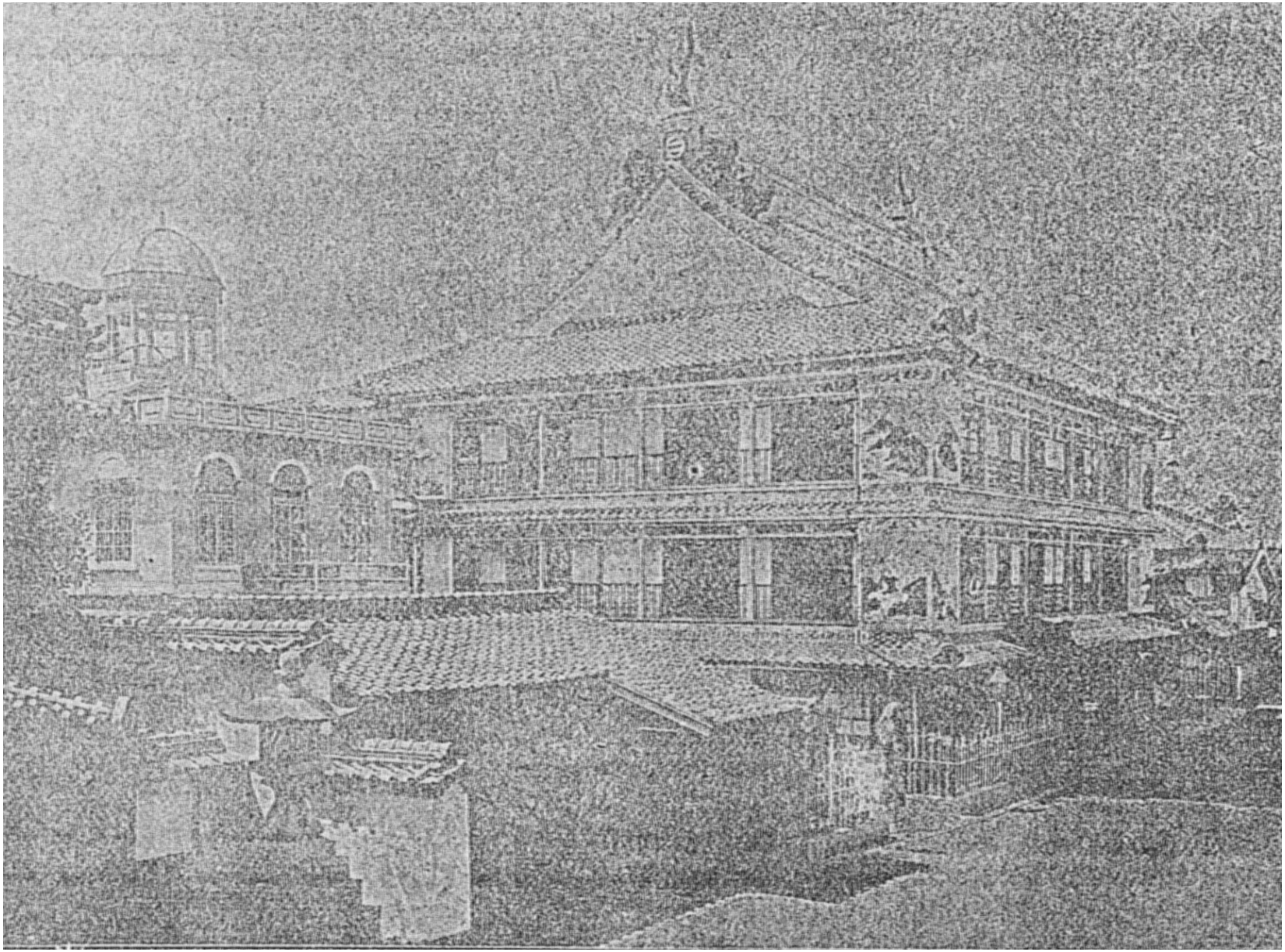
龍大夫旅館 から 神都ホテル神風館 へ 明治33年神風館が買収、



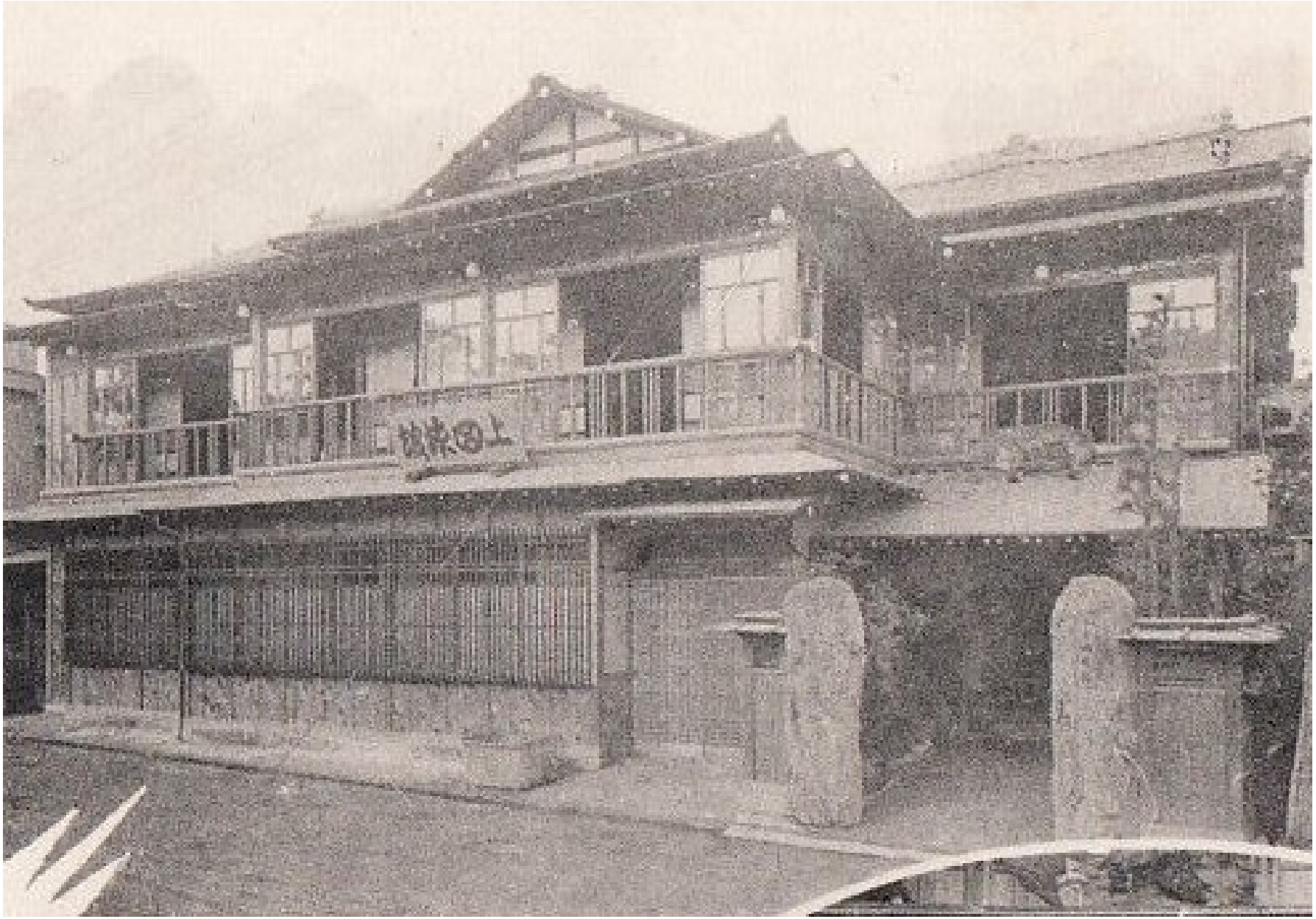
旧　　新

北御門前 神風館を一部移築し拡大、収容人員7～800人 三日市旅館とならぶ二大旅館となった

旅 館（北御門周辺）＜宇仁館＞



旅 館（北御門周辺）<上田旅館>



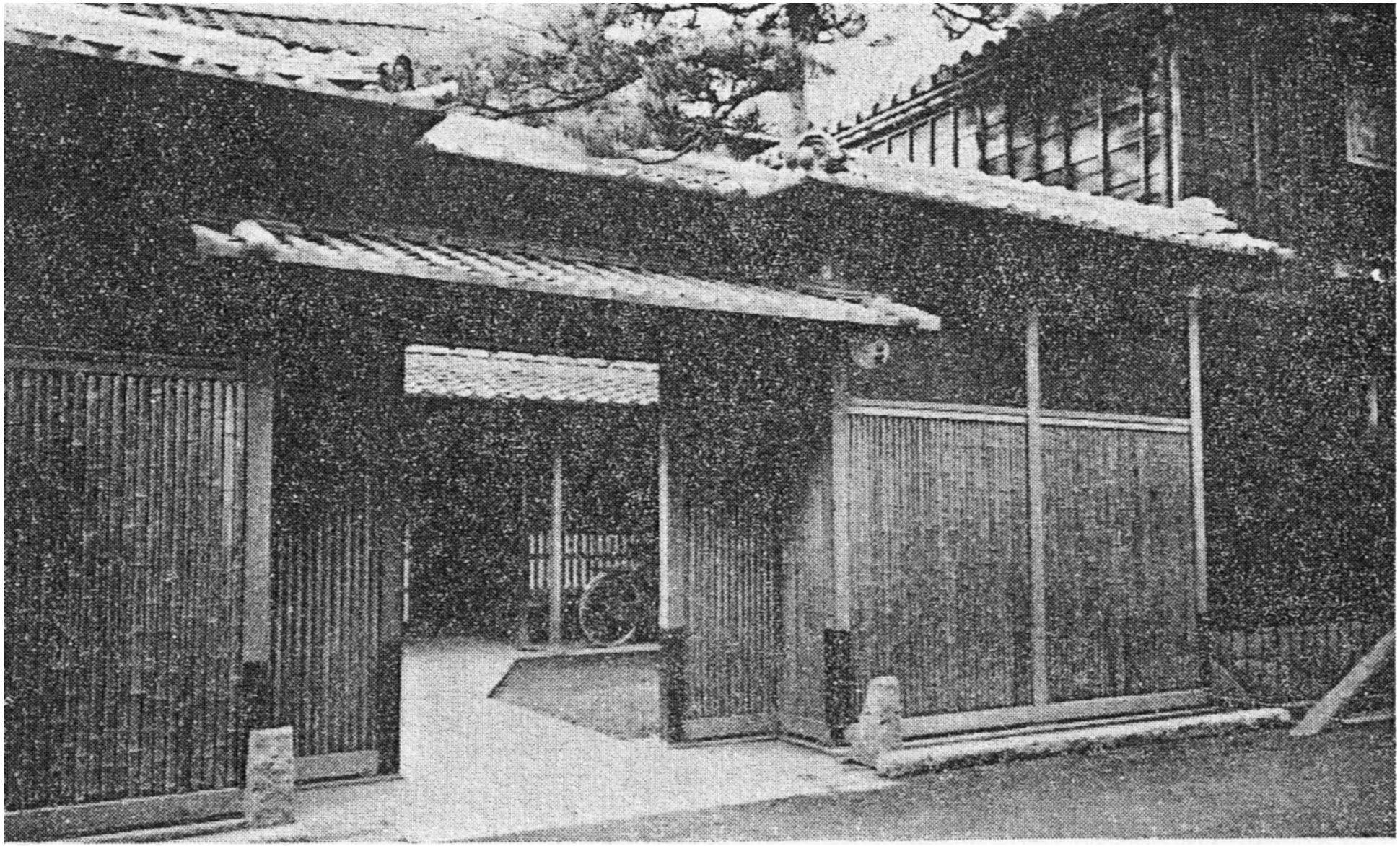
旅 館（北御門周辺）<高千穂館>

宮崎市　高千穂館　本店　（電話一五一番）

旅 館（北御門周辺）<吸霞園> NTT 前

旅 館(曽禰、大世古、八日市場、宮町)
＜柳屋＞ 曽禰町本通り 現 喫茶やなぎや

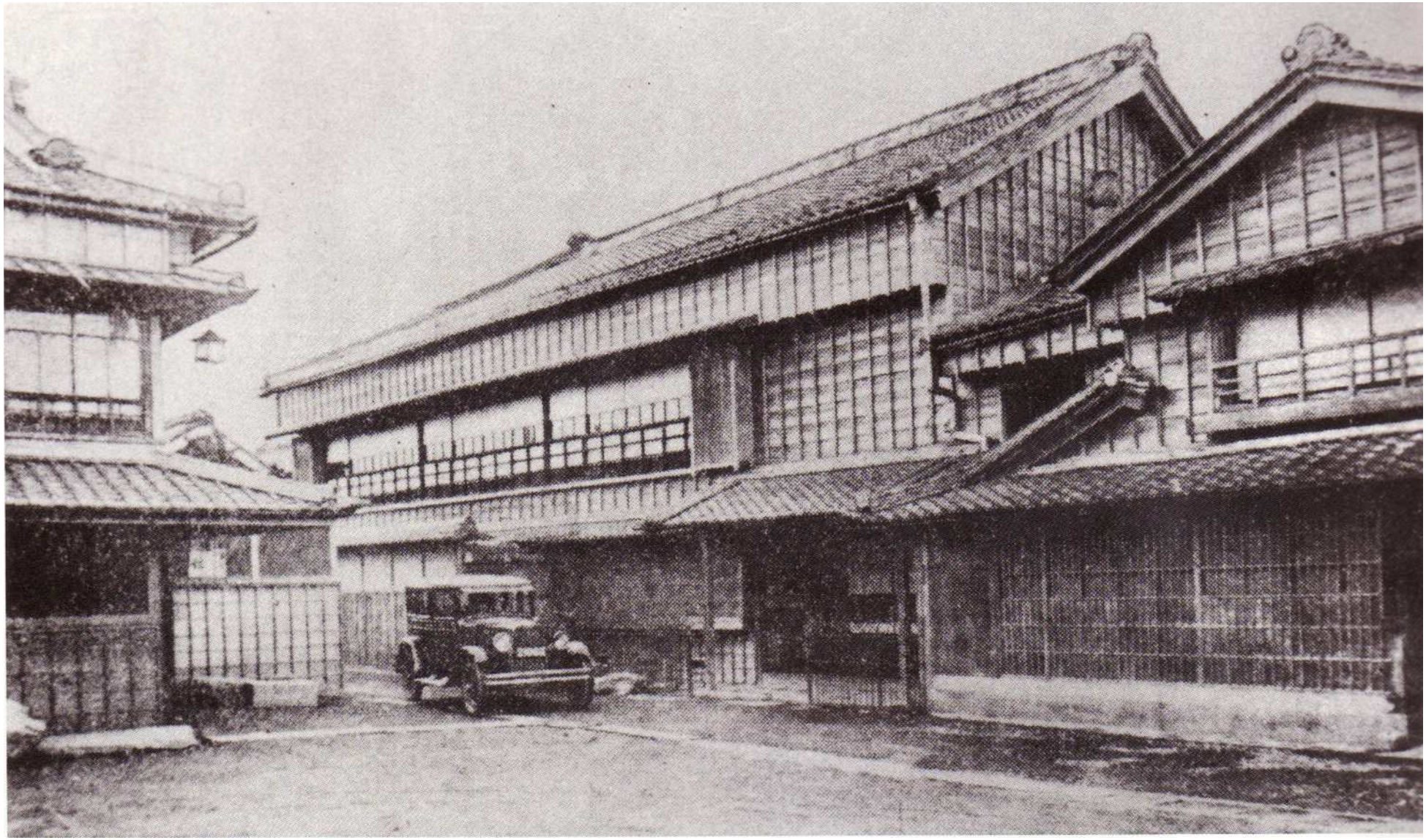
＜戸田屋＞ 大世古 現 伊勢戸田家料庵



＜興可樓 のち 宇仁館別館 千秋樓＞ 八日市場

現 一色 昌久寺の玄関に

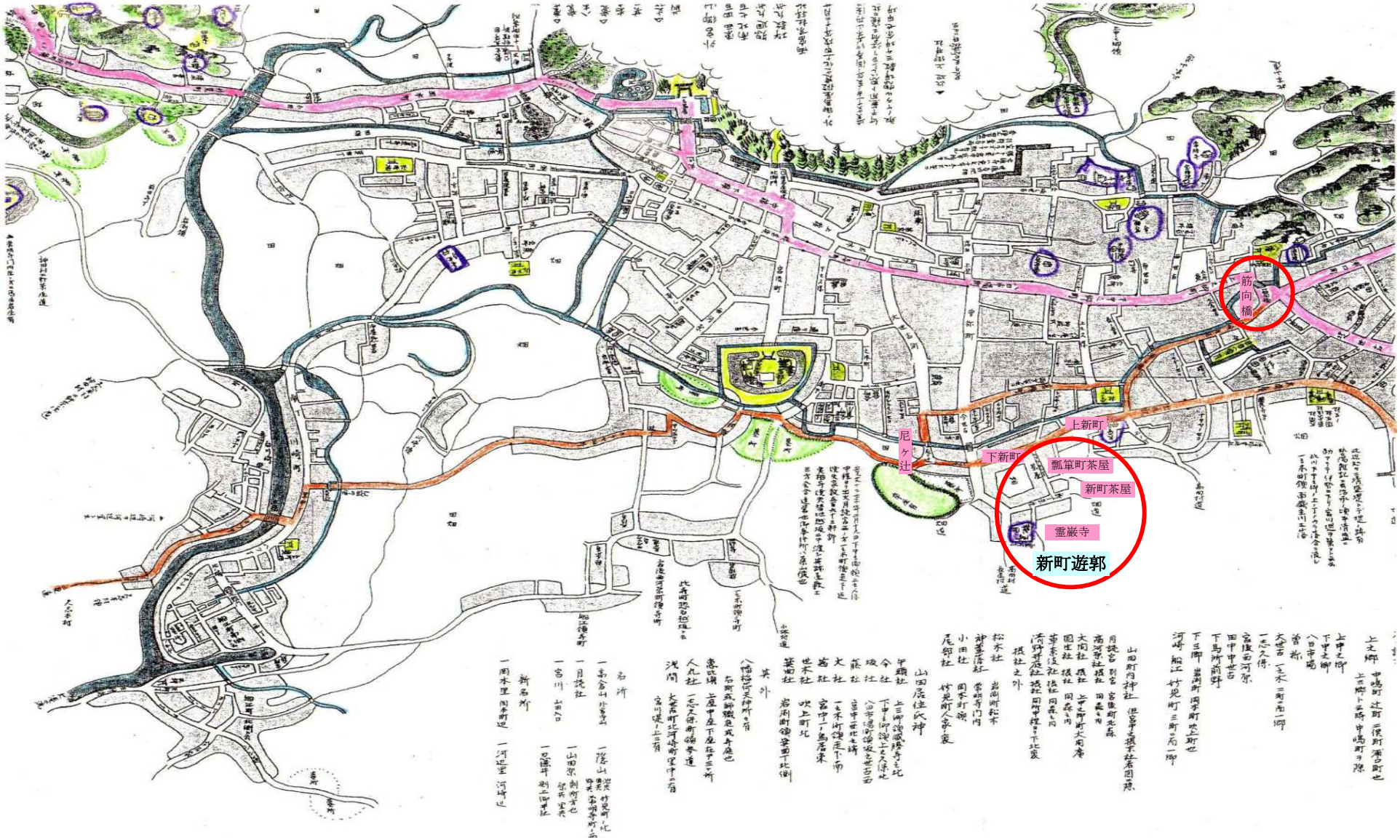
＜奥文＞ 宮町



新 町 遊 郭

新町遊郭は新道より先の享保年間（1716−1735）、河崎から宮川に通じる道筋の霊厳寺町にできた 主な客は師職の家来や商人

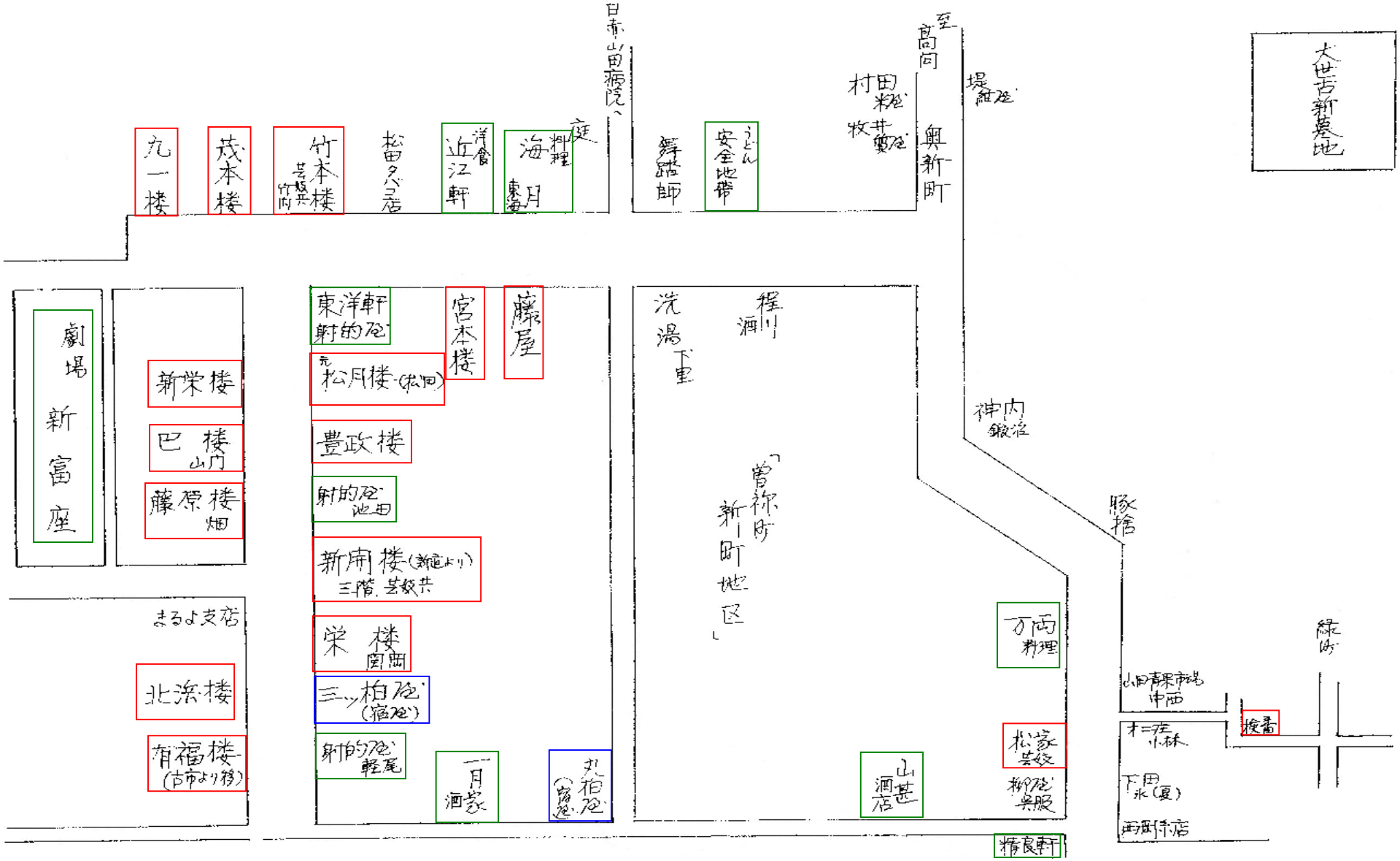
宝暦年間（1750）頃 山田町之図



霊 巌 寺 の 遺 構 明治初期に廃寺（現在 個人宅）

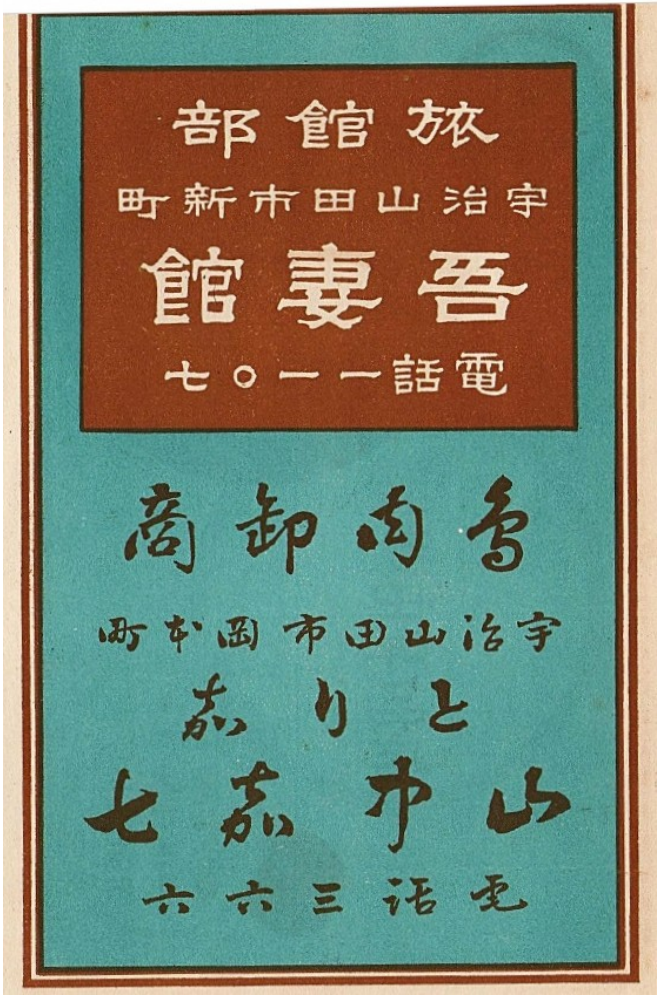
新道・新町の花街を『 新 古 市 』と呼んだ

新町遊郭　大正期？


日赤・山田病院へ
至高向
堤組座
大世古新墓地
村田料亭
牧井料亭
奥新町
安全地帯
うどん
舞踏師
庭
海月
料理
近江軒
洋食
松田タバコ店
竹本楼
芸妓共
竹内
茂本楼
九一楼
劇場
新富座
新栄楼
巴楼
山内
藤原楼
畑
東洋軒
射的座
宮本楼
藤屋
元
松月楼（松岡）
豊政楼
射的座
池田
新南楼（新地より）
三階、芸妓共
栄楼
岡田
三ッ柏座
（宿座）
射的座
軽尾
一月
酒家
丸柏座
（宿座）
まるよ支店
北浜楼
有福楼
（古市より移）
洗湯
下里
程川
酒
「菅祢町」
新町地区
神内
鍛冶
豚捨
万両
料理
山甚
酒店
松家
芸妓
柳座
呉服
精良軒
緑町
山田青果市場
中西
検番
オ二茂
小林
下田
氷（夏）
西尾商店

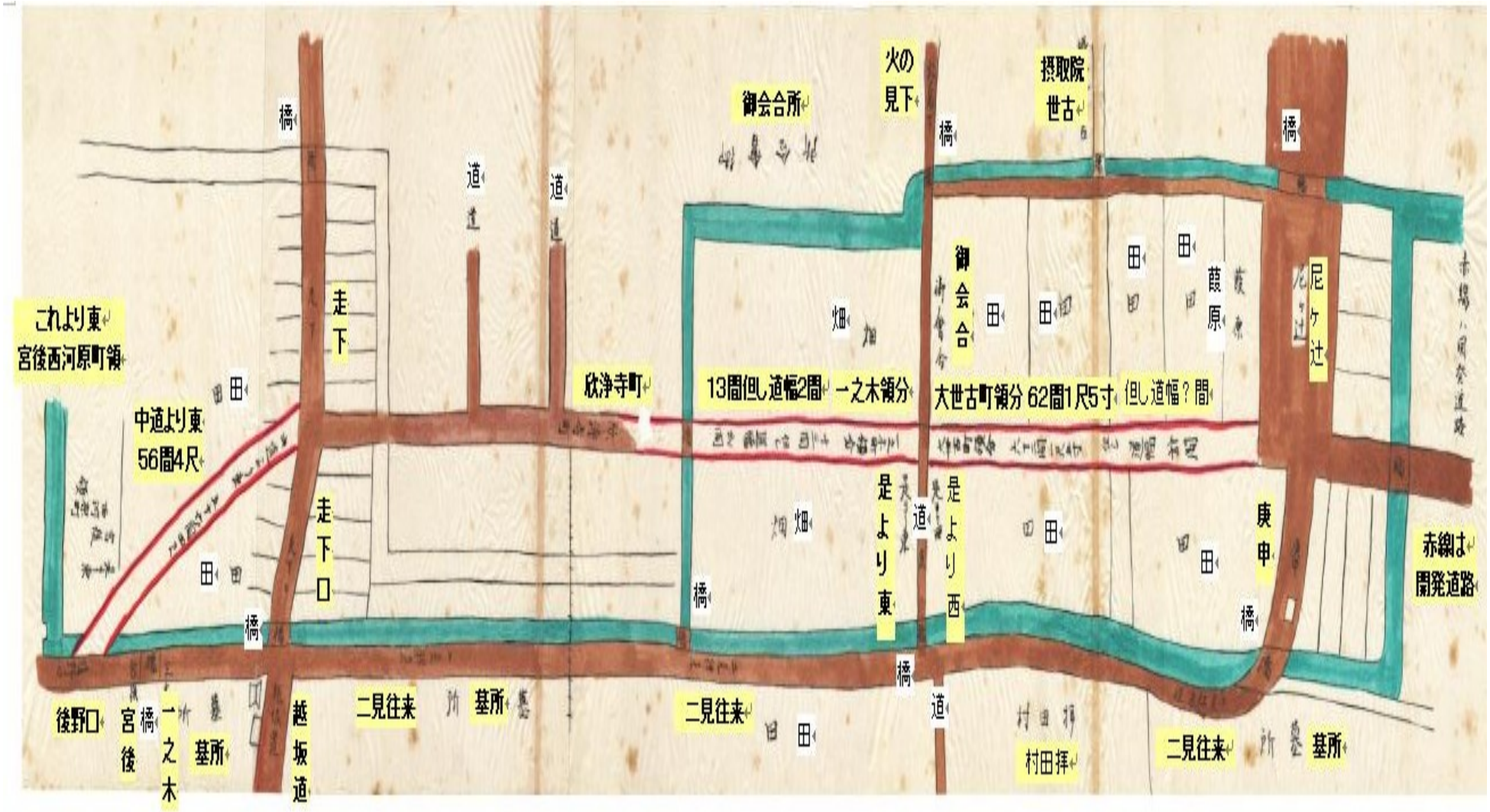
新 町 遊 郭 明治期

新 町 遊 郭



吾妻楼 新町 とり嘉は明治からの老舗
宇治山田市になるのは明治39年
電話366は大正初期 1107は昭和初期のみ

新 道 開 発 の 図



天保11年（1840）前後 松原清兵衛が私財を投じて「新道」を修設し、
その両側に『霊巌寺』門前にあった茶屋を移転したのが『新道廓』のはじまり、明治中期1890頃より繁盛する

新古市の間違い

伊勢古市遊廓

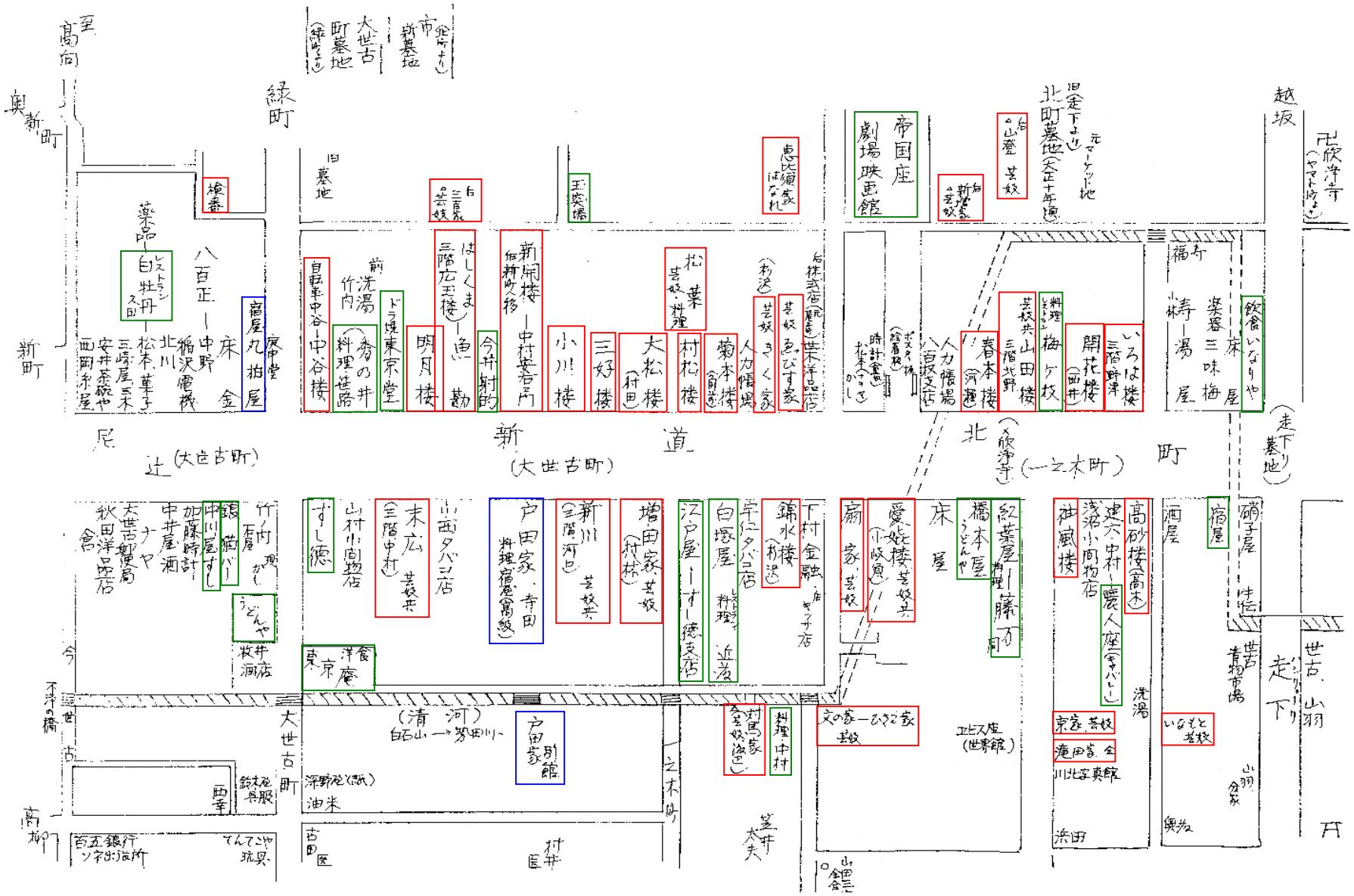
新 道 遊 郭

明治期？

清川 大正時代

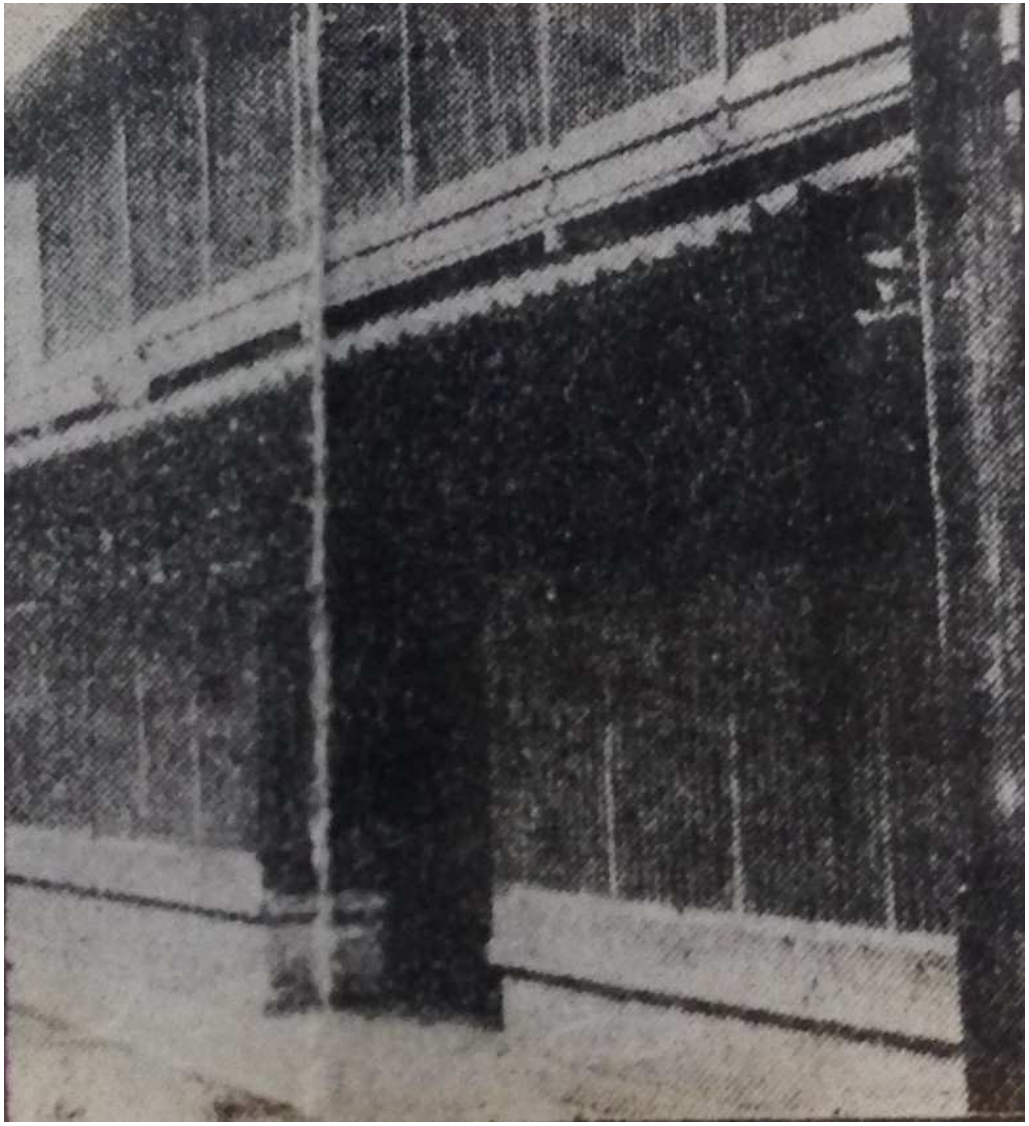
左側 新川樓　　嬉春亭（戸田屋別邸）　右側
手前 戸田屋　　新増家（一之木に移転）手前

新道遊郭 大正期？

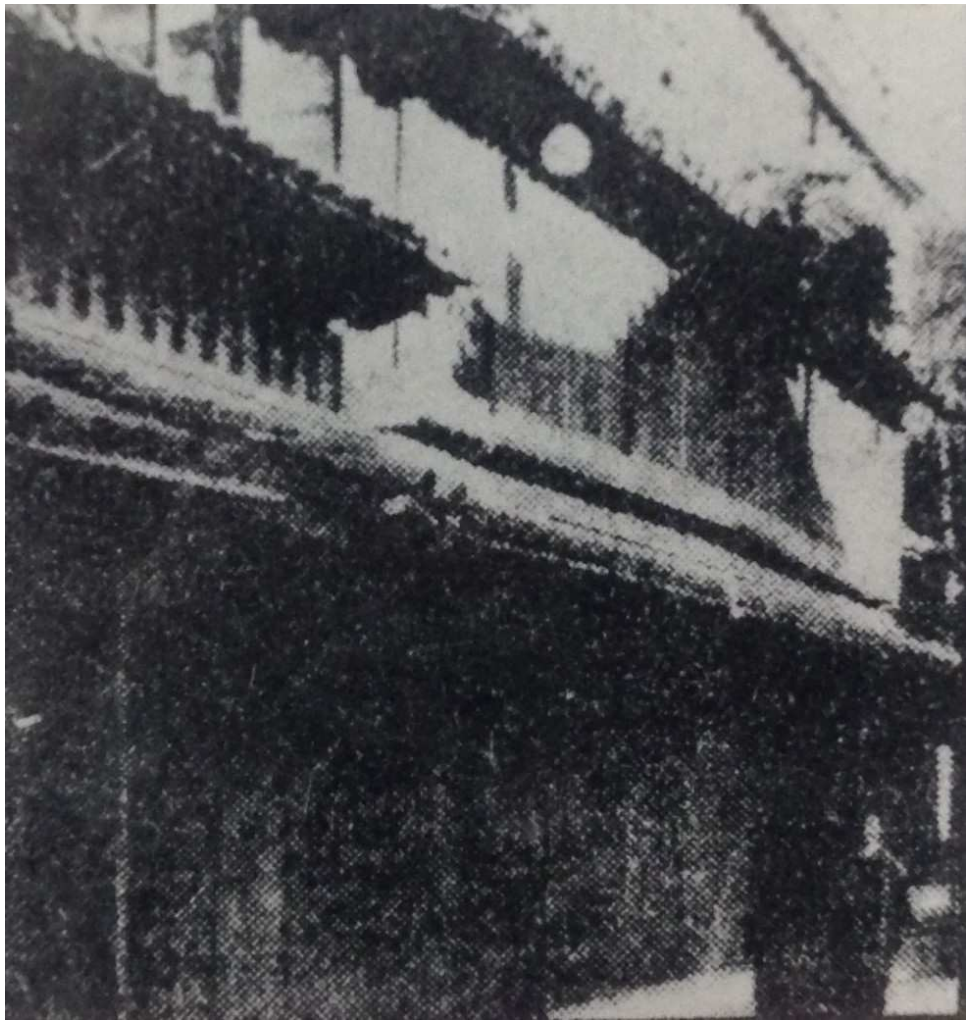

新道
(大世古町)
北町
(一之木町)
新町
緑町
越坂
帝国座
劇場映画館
八百正
中野
稲沢電機
床金
寿屋丸拍屋
寿屋
白牡丹
松本菓子
三嶋屋
安井茶碗屋
西岡糸屋
検番
墓地
自転車中谷
中谷楼
洗湯
竹内
料理 秀の井
料理 世路
ドラ焼東京堂
明月楼
はしくま
三階広玉楼
今井射的
新開楼
中村安右衛門
小川楼
三好楼
松葉
芸妓・料理
大松楼
村松楼
菊本楼
芸妓 きく家
芸妓 ちびす家
人力帳場
芸妓 さく家
芸妓 ちびすはなれ
玉突場
芸妓
新開楼
芸妓
山登
芸妓
時計食堂
人力帳場
春本楼
芸妓共 山田楼
三階野津
梅ケ枝
料理 開花楼
いろは楼
三階野津
福寿
楽器三味線
寺湯屋
床屋
飲食 いなりや
(走下り墓地)
欧浄寺
(一之木町)
北
町
尼
辻
(大世古町)
新
道
(大世古町)
竹内
うどんや
井筒
銀猫バー
中川屋すし
加藤時計
中井屋酒
大世古郵便局
秋田洋品店
今
不洋の橋
世古
大世古町
高柳
すし徳
山村小間物店
末広
(三階中村)
芸妓共
山西タバコ店
戸田家・寺田
料理 宿屋(富久)
新川
(三階河巳)
芸妓共
増田家
芸妓
(村林)
江戸屋
すし徳支店
白塚屋
料理 近江
宇仁タバコ店
錦水楼
(村治)
下村金融
ギフト店
扇家
芸妓
愛姐楼
芸妓共
(小岐)
紀葉屋
料理 藤万
橋本屋
うどんや
床屋
(清河)
白石山 → 芳田川
戸田家別館
洋食 京庵
洋野花(紙)
油米
村田家
芸妓(浪)
料理 中村
文の家 ひさご家
芸妓
工ビス座
(世界館)
御風楼
浅沼小間物店
建六中村
農人座(キバシ)
高砂楼(高木)
京家 芸妓
滝田家 仝
川北写真館
浜田
酒屋
宿屋
硝子屋
中吉
世古
青物市場
洗湯
いなもと
芸妓
山羽
仝家
興治
走下り
世古
山羽
百五銀行
ソネガ出所
てんてこや
坑夫
西幸
鉄木花
呉服
古田医
村井医
笠井
太夫
山田
仝

新道遊郭

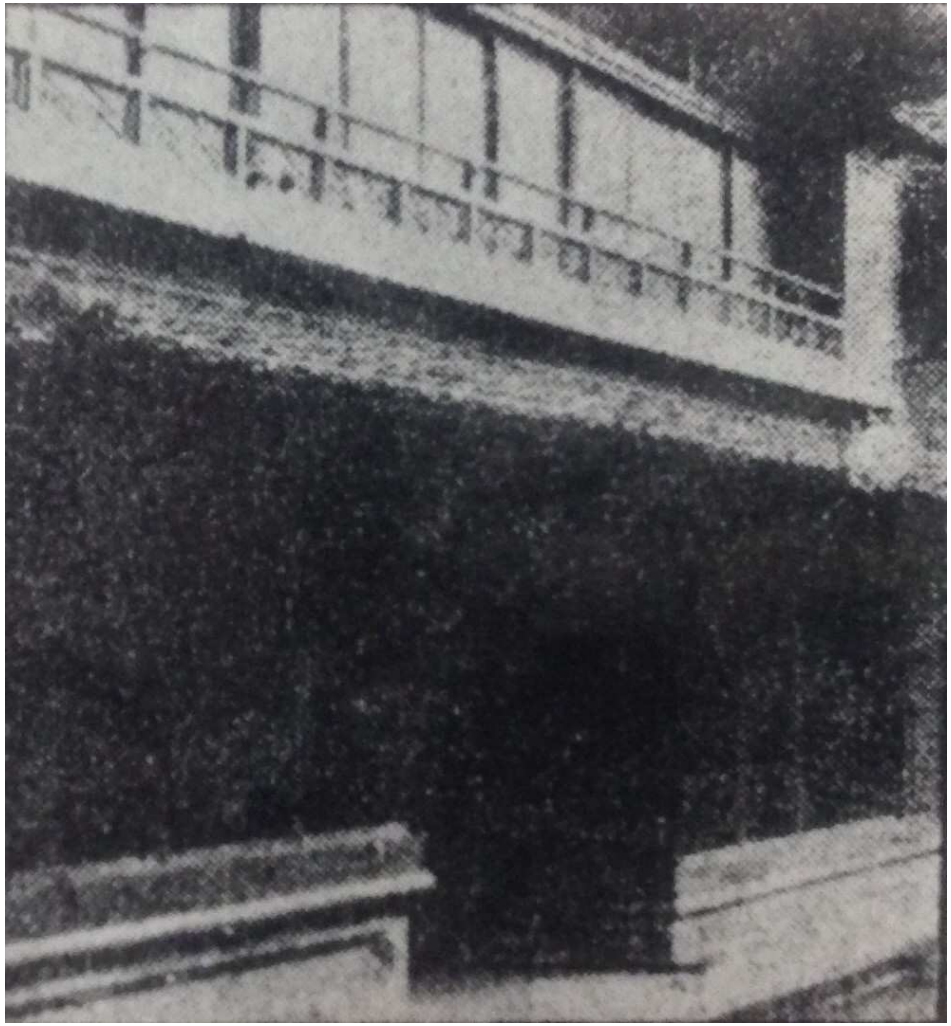
増田屋　現 増田文具店辺りか？



末広樓　中谷自転車店の前にあり 大正12年



＜山田樓＞橋本屋食堂の東前 大正12年



＜愛嬉樓＞のち 料理屋 海月 大正12年

戦後の 新道・銀座新道商店街

中谷自転車店 二富士　　中村登(金物)商店

新道商店街 昭和28年

菱川洋品店 パチンコひかり　　杉沢金物店

新道商店街 昭和30年

カワイ　　ミキヤ　　イスズ洋行

銀座新道 昭和30年

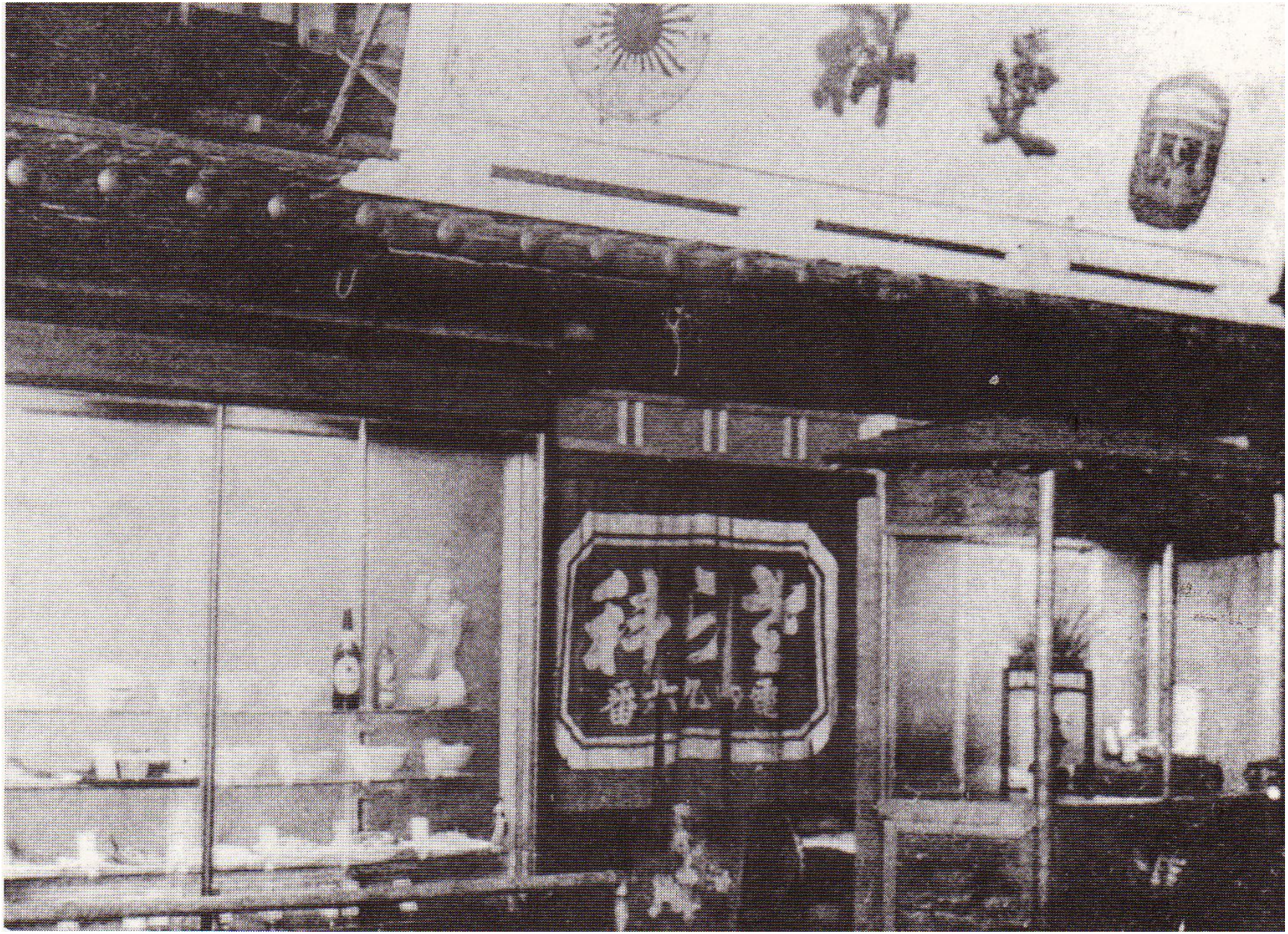
曽我商店　　ベニス

銀座新道 昭和30年

さくら通 昭和36年

西洋料理 開福亭 一之木 昭和13年頃

さ ら 科（蕎麦屋）



和洋料理 ビアホール白塚屋 増田屋の一軒先の東

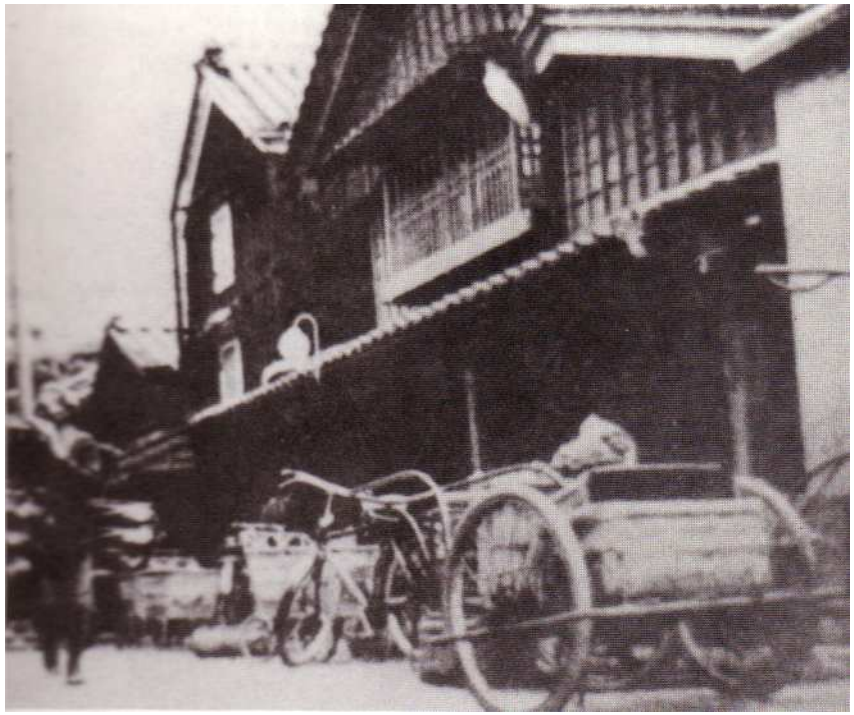
霊 人 座

ハシモト衣料品店 みうら洋品店 しんみちてらす

一之木交差点 昭和30年

越坂おつさか(元 世界館付近)交差点 あさや 昭和28年

世古善青物市場



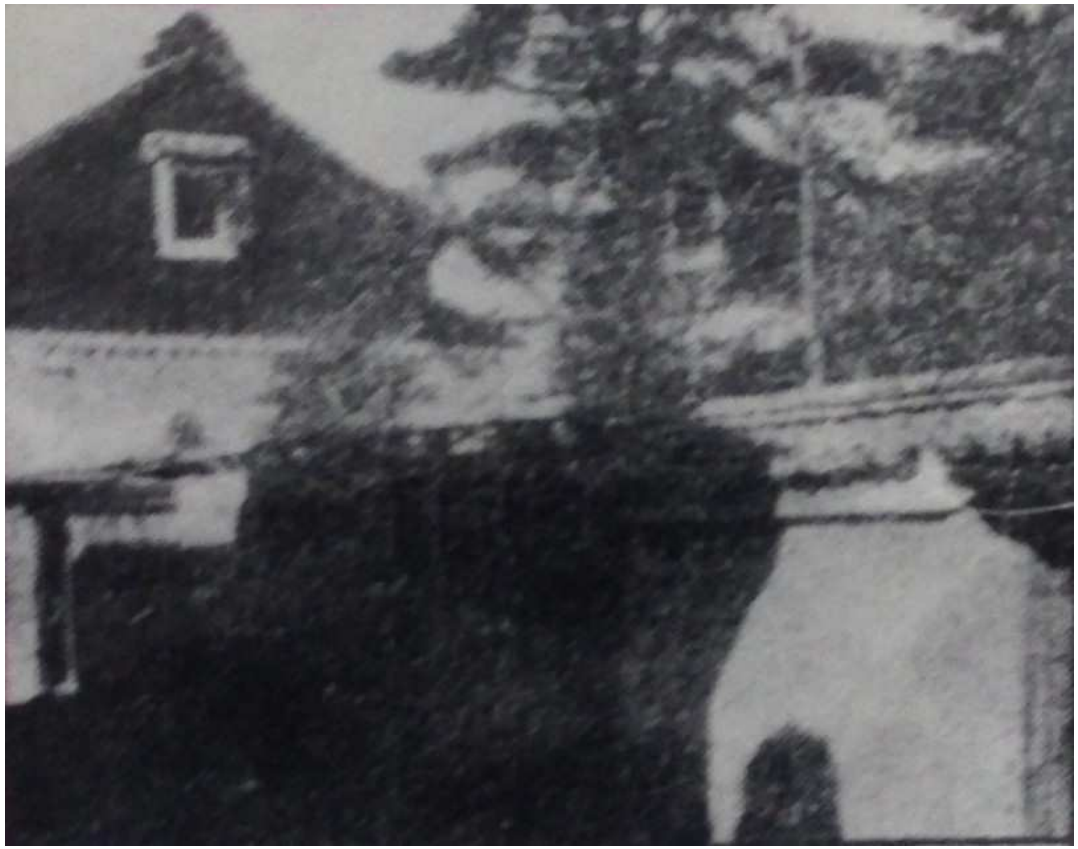
伊勢青果市場 昭和35年

山田三方会合えごう文庫

第２回神都沿革史料展覧会記念　○村令三氏所有？

宮 後 ？昭和20年 現 県道37号線？

＜ 糀 屋 ＞ 河 村 醤 油（宮後）



畑肛門医院 大正12年（宮後）

厚生小学校 昭和20年（一志町）

お木曳きに見る ＜一 志 町＞ NTT 前 昭和17年

お木曳きに見る 勢南銀行　　岡安歯科医院付近 昭和17年

勢南銀行

<八日市場>

七家呉服店 昭和11年

お木曳きに見る ＜八 日 市 場＞

有文堂前 明治40年 山田貯蓄銀行

伊 勢 電 気 鉄 道　＜八日市場＞

明治44年設立 昭和5年桑名～大神宮前駅全線開通

昭和11年参宮急行電鉄(現近鉄)に吸収合併 昭和17年廃業

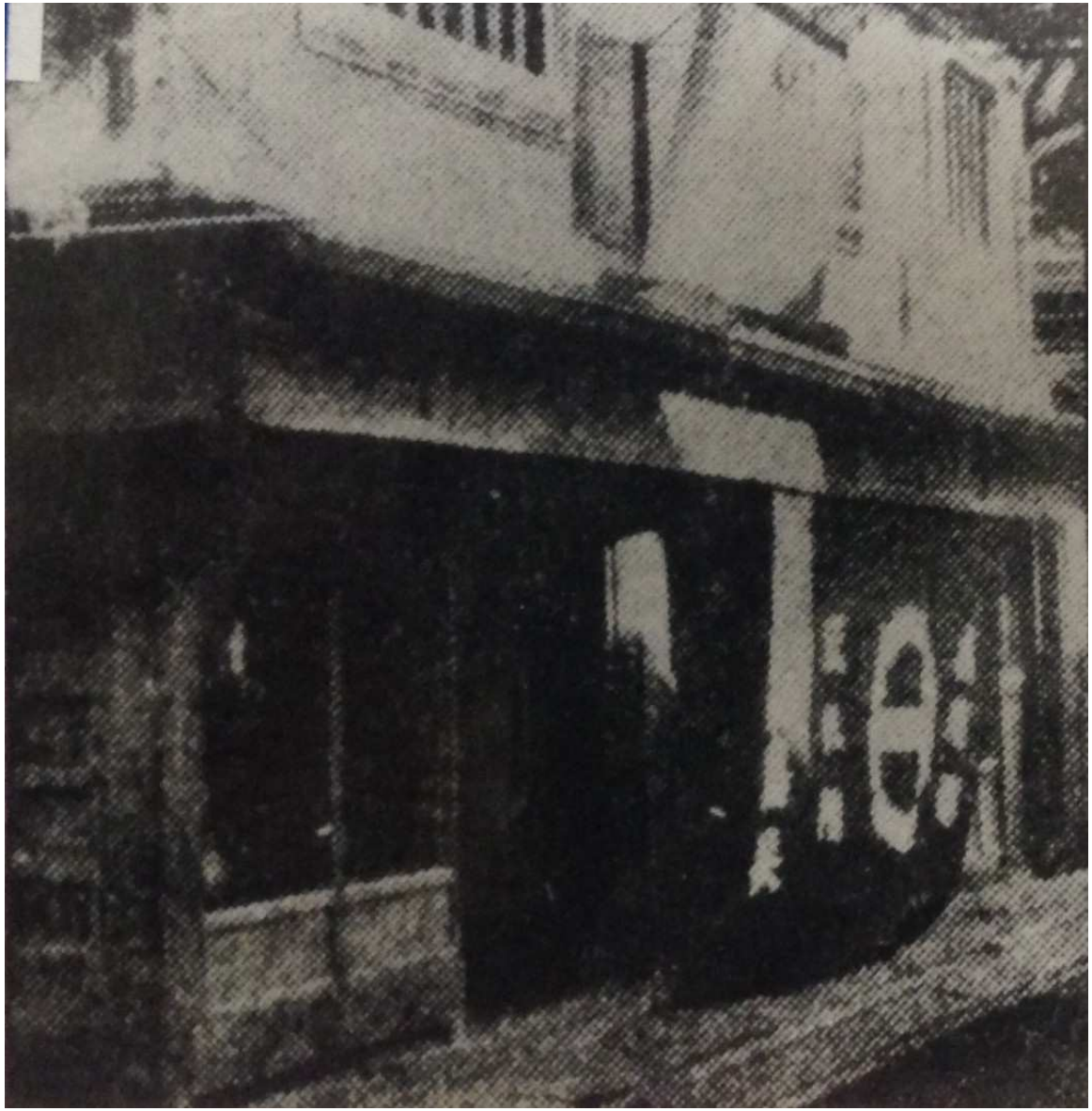
大神宮前駅

大神宮前駅

大神宮前駅 昭和16年

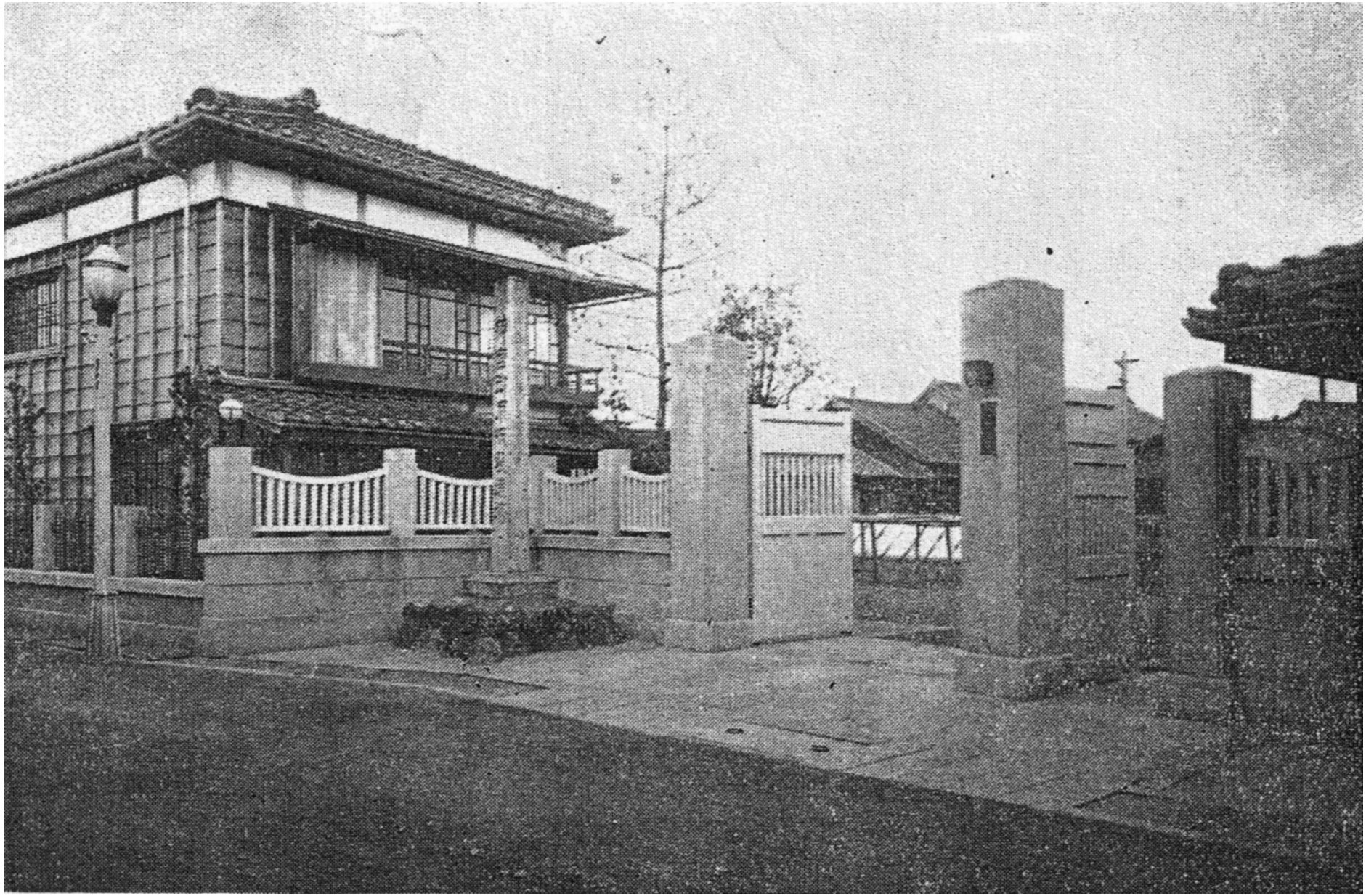
常 盤 町 駅 跡　現在の図書館前

<大 世 古>



島長呉服店 のち 飯沼医院

神都製紙



尼 辻 交 差 点　＜大世古町・曽祢町＞本当は今世古です

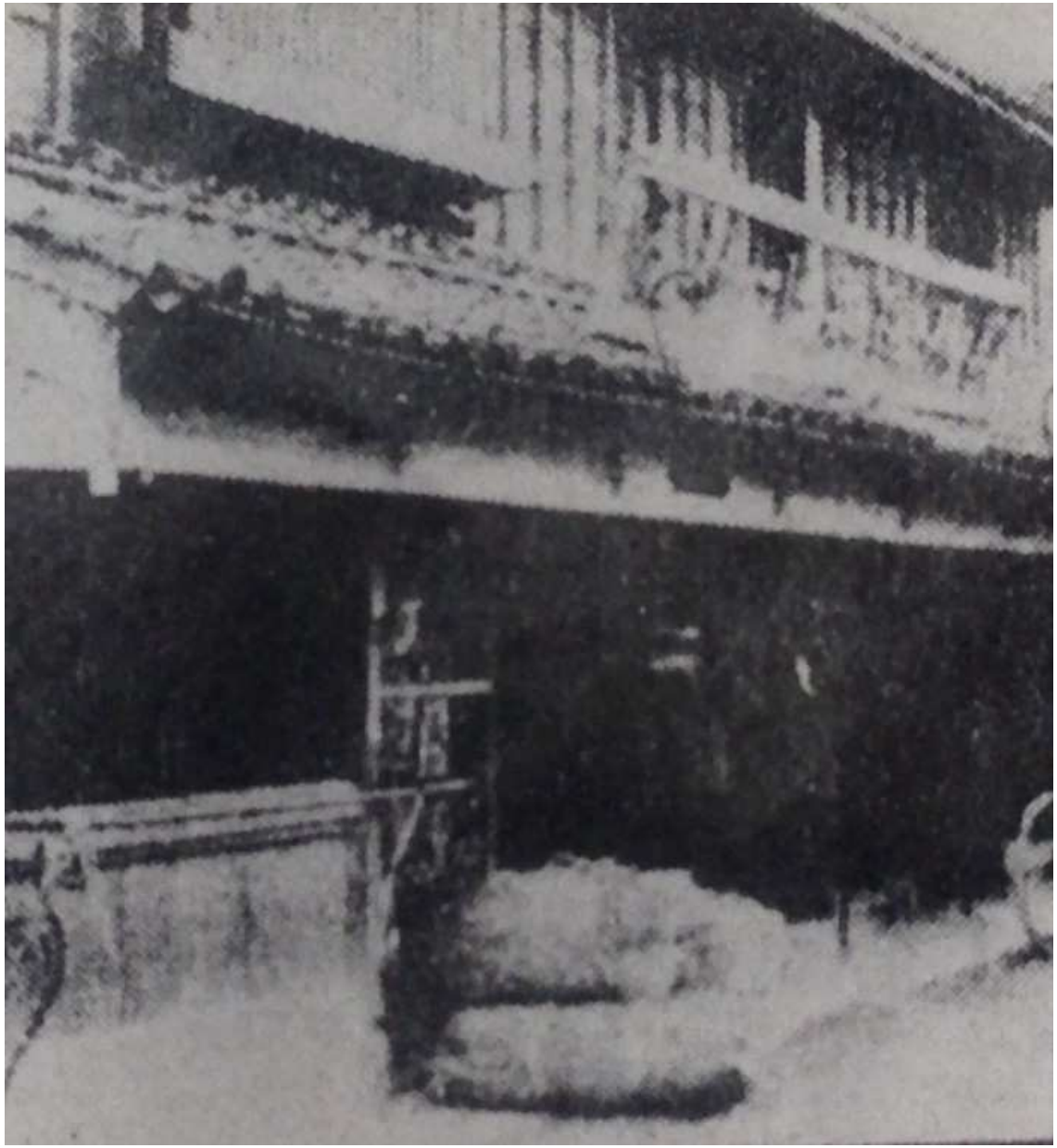
昭和19年頃 左の蔵は秋田洋品店

昭和19年 黒沢明監督映画『翼の凱歌』より尼 辻

曽禰町通 ビルは報徳銀行

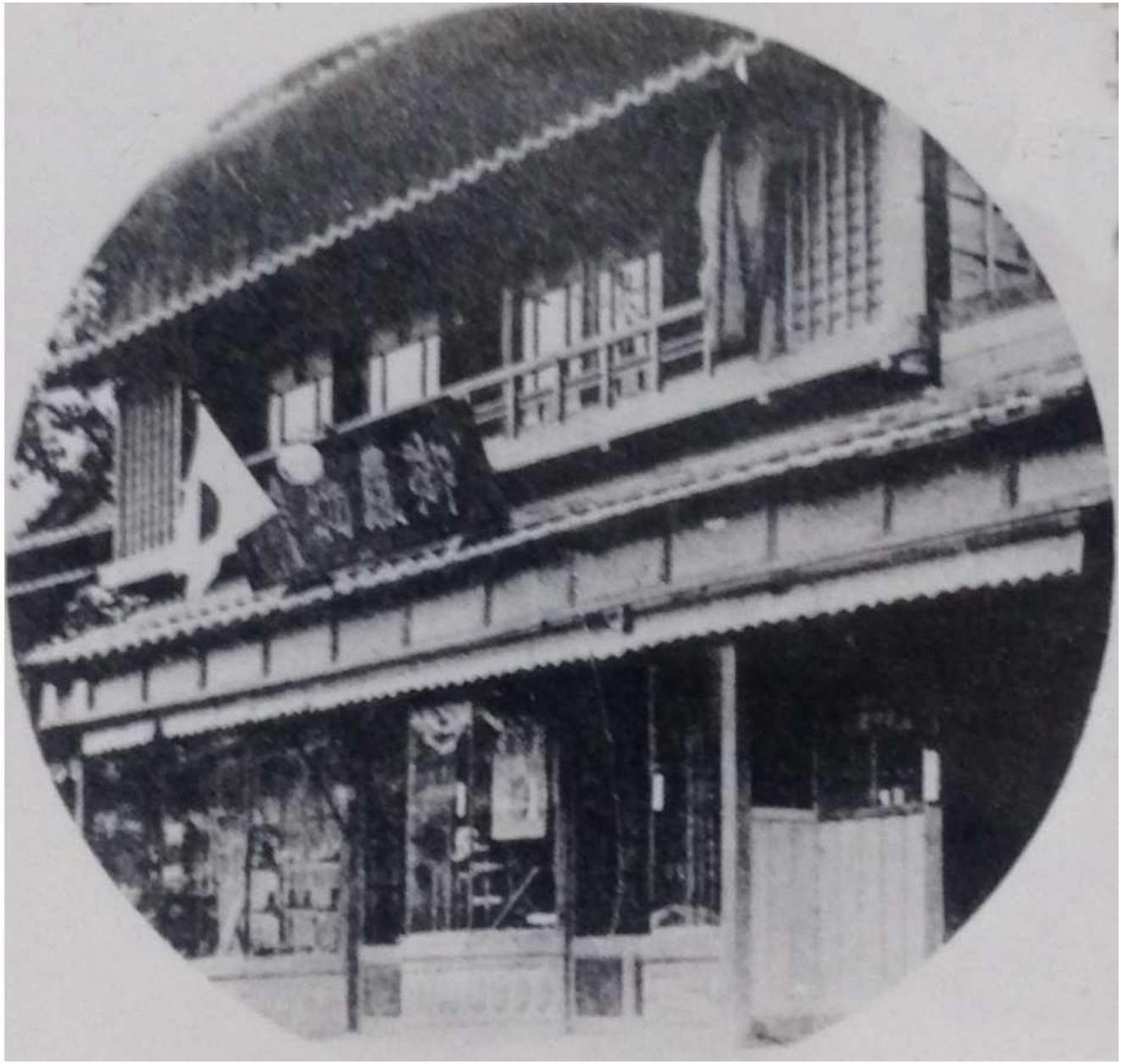
扇 月 堂 せいふうどう 旧国道23号線

鈴木呉服店 旧国道23号線 大正11年



ムラ井洋服店 旧23号線 大正12年

長谷川履物店 曽禰町 昭和11年



高村薬局

秋田洋品店　昭和初期？

伊勢古市遊廓

西岡釣具店　白牡丹食堂

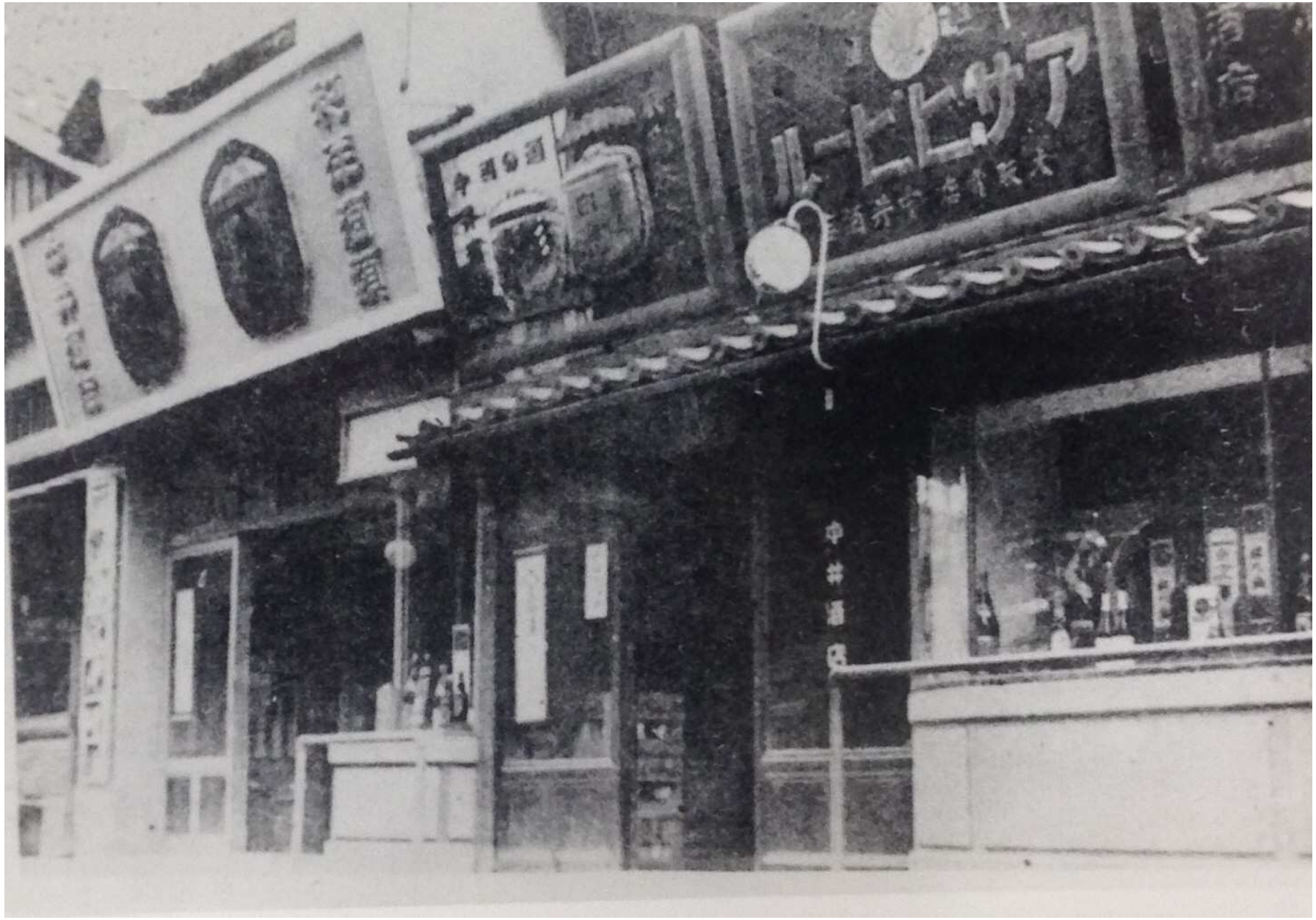
郵便局　秋田洋品店

明治２０年呉服商から転身 昭和１１年

看板に、「Gent's Outfitter, Draper, Perfumer, etc」（紳士用旅行用品商、生地商、香料商など）

西岡糸店 のち 西岡釣具店 昭和11年

中井屋酒店

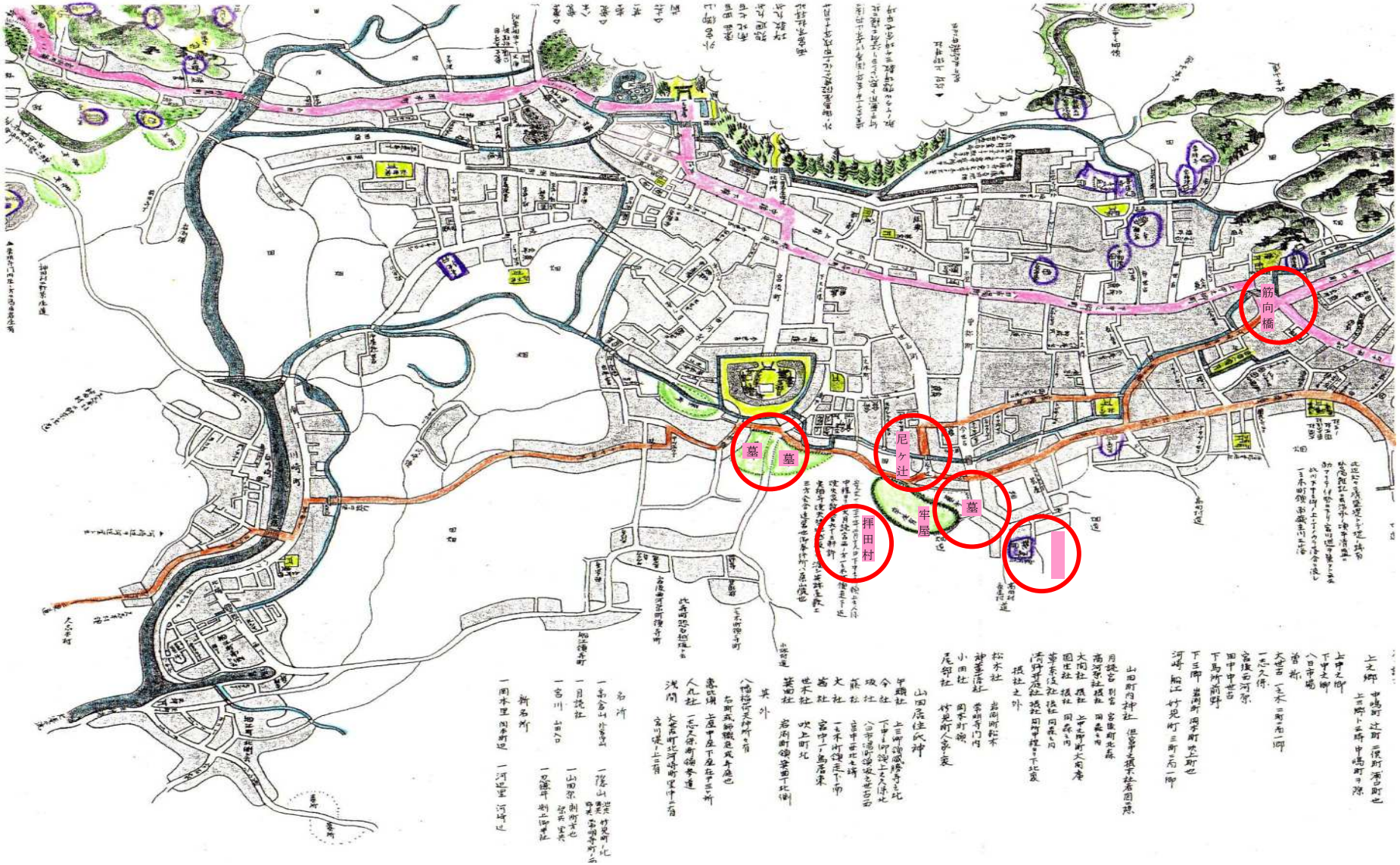


昭和20年7月29日空襲（1月より毎月1回あり）

昭和３０年頃

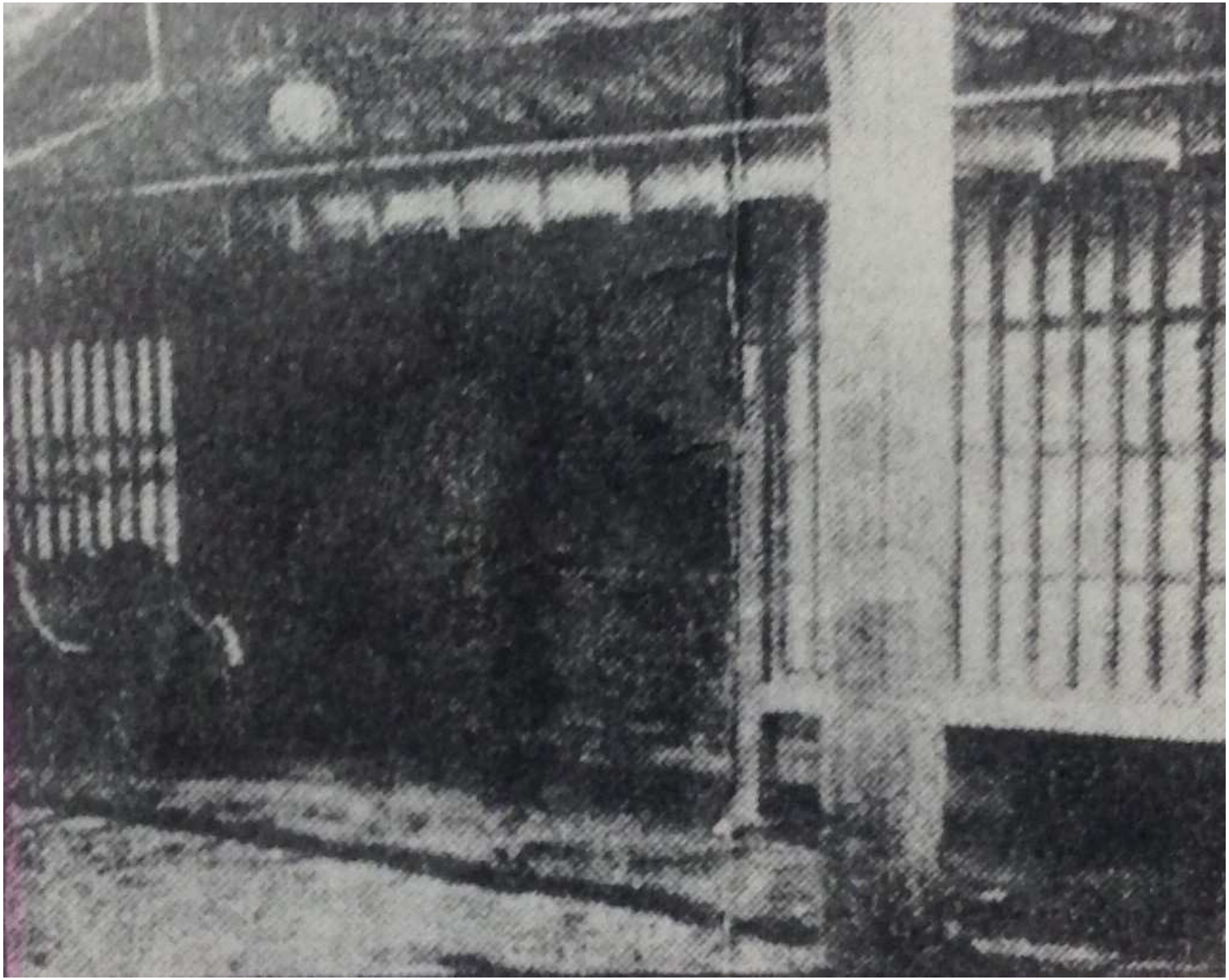
商店街の仮装行列

宝暦年間(1750)頃 山田町之図 初めて『尼(ヶ)辻』の表記が！なぜ『尼辻』と呼ばれるのか？



古市で活躍した『お杉お玉』などの辻芸人や比丘尼と呼ばれる人たちは拝田(村)より出稼ぎ？
大世古の墓は明治32年、一之木のは大正3年に移転

新町踏切近く（曽祢）



堤 藍 染 店 大正12年

高柳商店街

知新堂書店 松田呉服店 昭和11年

朝日屋 にしやま 知新堂書店 昭和28年

奥山呉服店 昭和30年代 おく宗呉服店？

戦前から商店街として組織化され、年末年始の大売り出しや初夏の夜店などを実施し、買い物客で賑わった。

浦の橋

道具辰商店 昭和11年

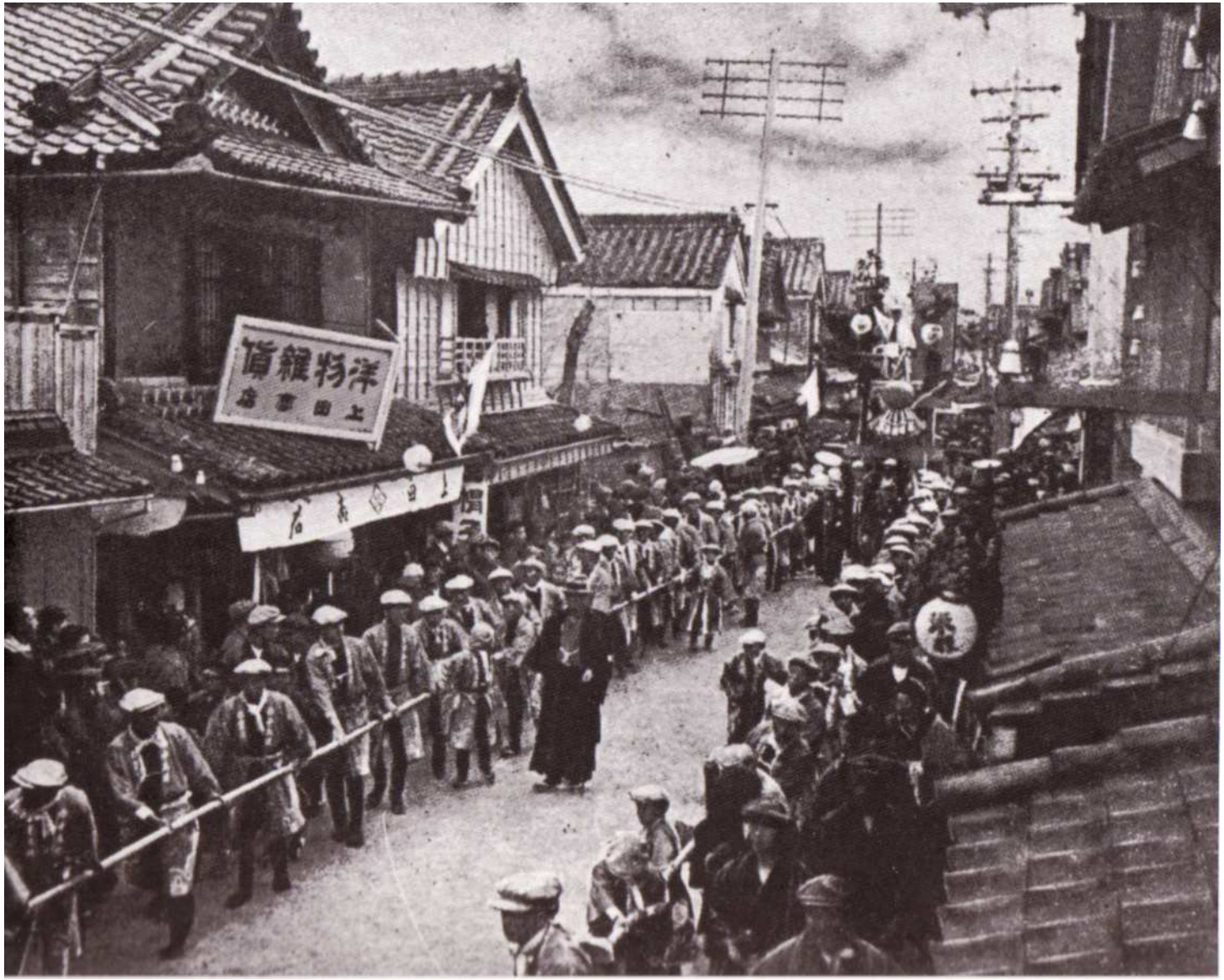
宮 町 近鉄宮町駅は元、外宮前駅と称した

宮町大鳥居 初代：昭和5年建立 20年消失 一升瓶の広告塔も

昭和20年に再建、昭和30年代

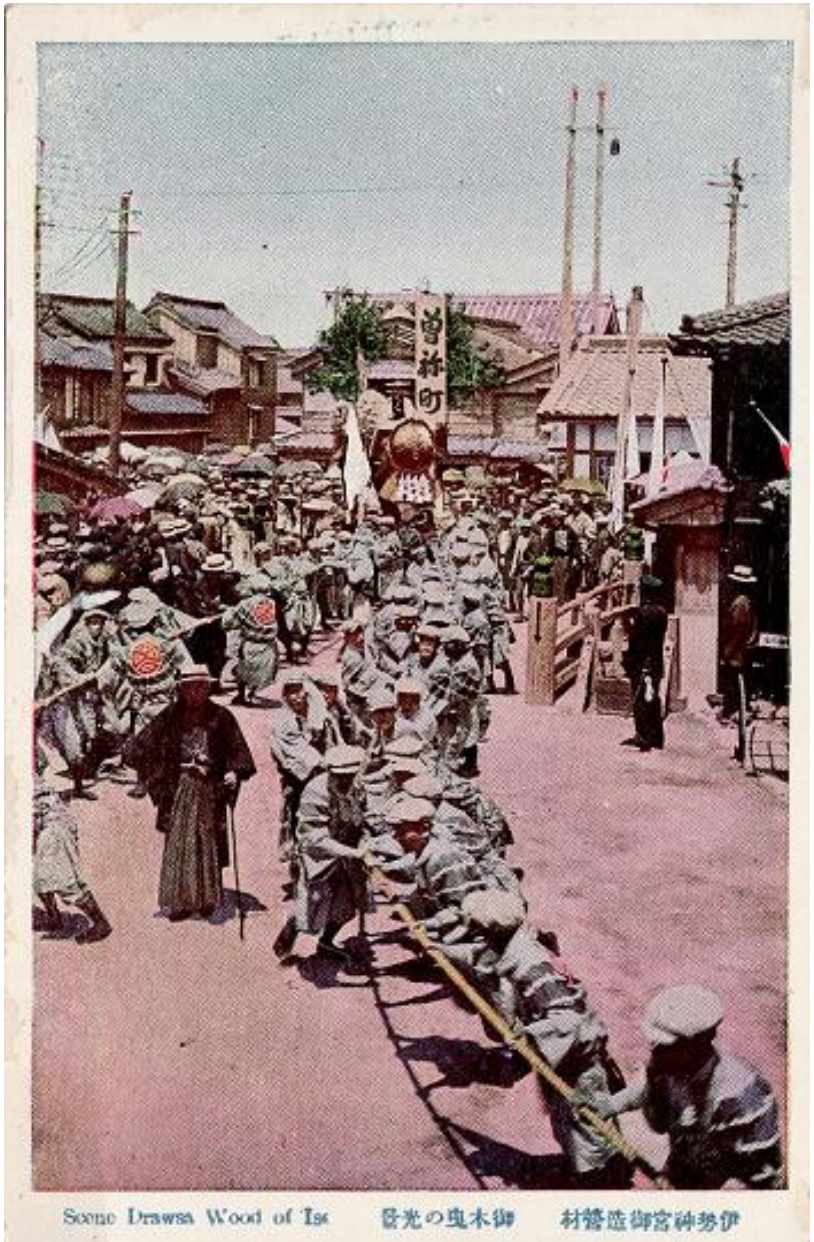
昭和34年 伊勢湾台風で倒壊

お木曳きにみる 常 盤 町



洋物雜貨 上 田 商 店

お木曳きの筋向橋



曽祢町奉祭団

岩淵町奉祭団

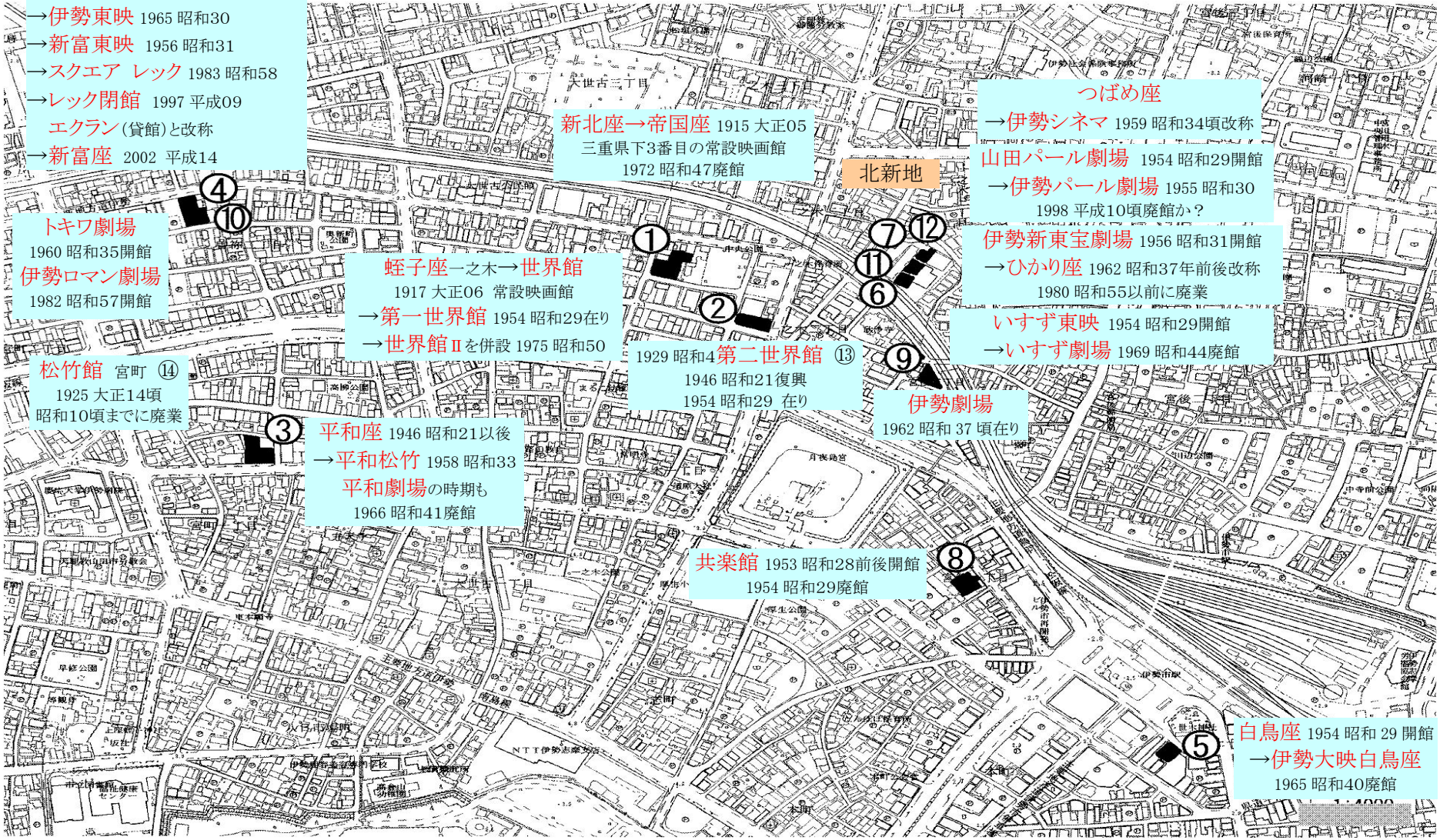
吹上町奉祭団

大世古町奉祭団

最後になりましたが、よく話題になりますので・・・伊 勢 の 映 画 館

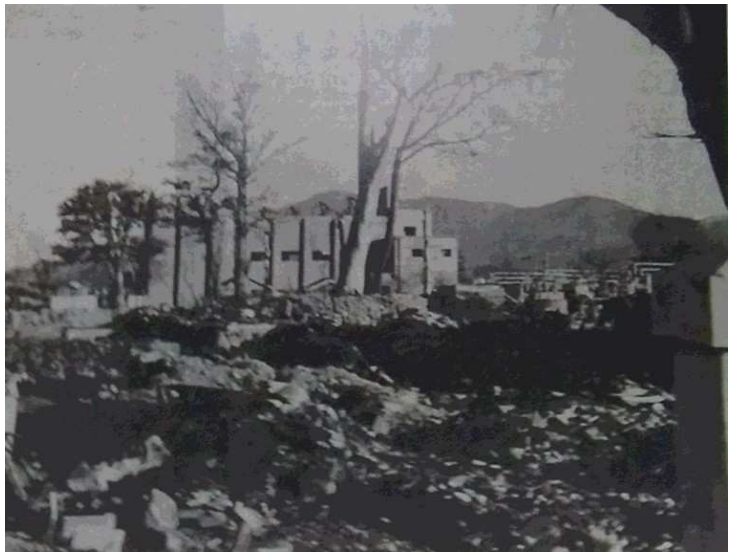
伊 勢 の 映 画 館

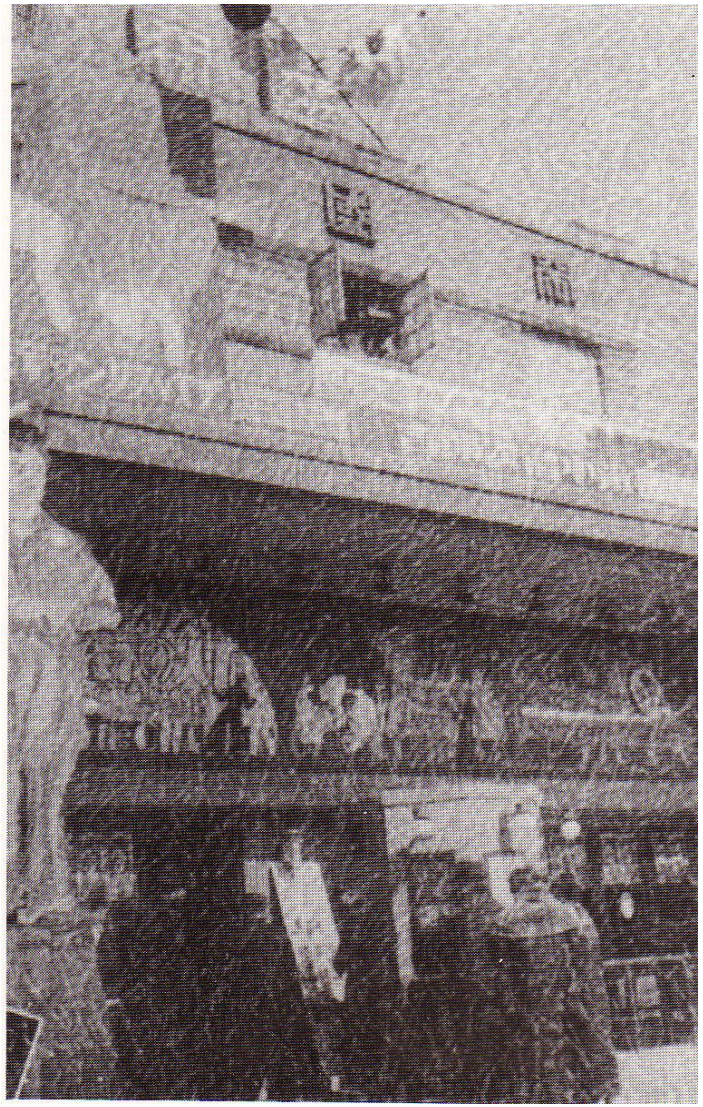
伊勢での最初の映画上映は 1897 明治30古市『長



伊勢市立郷土資料館第15回特別展図録『伊勢の映画館と銀幕チラシの世界』平成15年参照

帝 国 座





（蔵は現 正光堂 辺りか？）昭和20年7月29日空襲で一万数千発の焼夷弾が投下され、焼失

ひかり座周辺

松竹映画『砂の器』 1974 昭和49年 原作 松本清張

犯人の手掛かりを探しに伊勢の『ひかり座』を尋ねた刑事（丹波哲郎）

ひかり座の支配人役は 渥美 清 だった

懐かしい映画ポスター

帝国座『ゴジラ』昭29　世界館『花頭巾』昭31　平和座『海底二万哩』昭29　伊勢東映『月光仮面 魔人の爪』『浅間の暴れん坊』昭33

伊勢東映『旗本退屈男 謎の暗殺隊』昭35『荒獅子判官』昭30　白鳥座『大アマゾン半魚人』昭29『喜びも悲しみも幾歳月』昭32

懐かしい映画ポスター

帝国座『大当たり三色娘』昭32

新東宝劇場『肉体女優殺し 五人の犯罪者』『飛竜鉄仮面』昭32

帝国座『のんちゃん雲に乗る』 鰐淵晴子
『制服の乙女たち』昭30

第2回「 月 夜 見 宮 から 筋 向 橋 周 辺 」

のさんぽはこの辺でお開きです ご清聴、有難うございました。

次 回、「第3回 古 市 周 辺」は 11月19日(第3日曜)

そのあとは・・・・・

第4回 12月24日(第4日曜) 河 崎 周 辺
第5回　1月21日(第3日曜) 筋向橋から西側 周 辺
第6回　2月18日(第3日曜) 宇 治 周 辺

よろしければ、また、ご参加ください

謝　　辞

伊勢郷土史研究家 飯 田 良 樹 ・ 山 田 修 司（HP「いにしえの伊勢」）
両氏には写真の提供ならびにご指導をいただきました。

参 考 文 献

昭和61年 ふるさとの想い出 写真集 明治大正昭和 伊勢 二見 小俣 (株)国書刊行会
平成4年 図説 伊勢・志摩歴史＜下巻＞ (株)郷土出版社
平成2年 目で見る 伊勢・志摩の100年 (株)郷土出版社
平成6年 北岡善之助 伊勢の博覧会男 (有)伊勢志摩編集室
伊勢度会人物誌、神都名家集、宇治山田市史、最新 伊勢市史　ほか